

平成 23 年度

坂井市教育委員会の事務の管理及び  
執行状況の点検・評価報告書

坂井市教育委員会

## — 目 次 —

I	はじめに	1
II	点検・評価について	2
III	平成23年度坂井市教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の会議開催等の状況	3
2	教育委員の活動状況	5
3	委員会、審議会等の審議状況	14
4	教育委員会関係の許認可の状況	15
IV	平成23年度の教育委員会関係事業の取組実績	
	○ 教育総務課	16
	○ 教育施設整備課	25
	○ 学校教育課	28
	○ 生涯学習スポーツ課	43
	○ 文化課	60
	○ 市立図書館	67
V	有識者からの意見	68

## I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

### 【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）  
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「平成23年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が平成23年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

## II 点検・評価について

### 1 対象期間

平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）

### 2 点検・評価方法

#### (1) 点検・評価報告書の作成

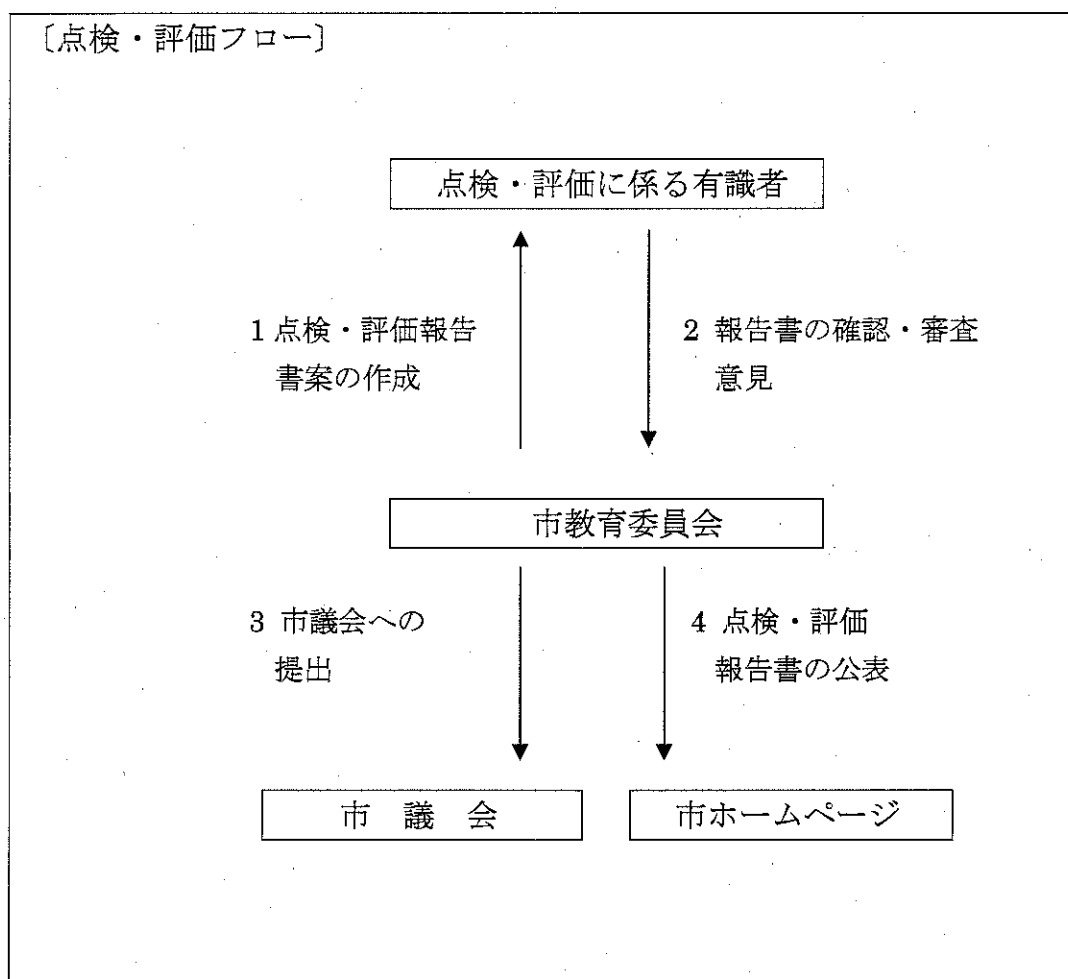
- ・ 教育委員会において点検・評価報告書案を作成

#### (2) 点検・評価報告書の確認、審査

- ・ 有識者による点検・評価報告書案の内容の確認および審査

#### (3) 点検・評価結果の公表

- ・ 点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表



### Ⅲ 平成23年度 坂井市教育委員会の活動状況

#### 1 教育委員会の会議開催等の状況

##### (1) 坂井市教育委員会委員(平成22年5月11日現在)

	氏名	職業
委員長	喜多 正之	農業
委員(委員長職務代理者)	竹田 裕喜子	寺院坊守(保護者委員)
委員	小嶋 義昭	農業
委員	青柳 裕	農業
委員(教育長)	川元 利夫	

##### (2) 坂井市教育委員会委員(平成23年5月11日現在)

	氏名	職業
委員長	喜多 正之	農業
委員(委員長職務代理者)	小嶋 義昭	農業
委員	青柳 裕	農業
委員	竹田 裕喜子	寺院坊守(保護者委員)
委員(教育長)	川元 利夫	

##### (3) 教育委員会会議の開催状況

- ・ 開催回数 13回
  - ・ 附議事項 42件
- 4月定例教育委員会〔平成23年4月27日(水)〕
- ・ 教育委員会事務局職員の任命について
  - ・ 坂井市立幼稚園保育料の減免に関する規則の一部を改正する規則について
  - ・ 坂井市給食費徴収規則の一部を改正する規則について
  - ・ 平成23年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置について
  - ・ 就学指定校の変更許可について
- 5月臨時教育委員会〔平成23年5月11日(月)〕
- ・ 坂井市教育委員会委員長の選出について
  - ・ 坂井市教育委員会委員長職務代理者の選出について

- 坂井市教育委員会教育委員の席次の決定について
- 5月定例教育委員会〔平成23年5月31日(火)〕
  - 坂井市教育委員会所管補助金等交付要綱の改正について
  - 坂井市奨学育英資金貸付の承認について
- 6月定例教育委員会〔平成23年6月30日(木)〕
  - 坂井市スポーツ振興審議会委員の承認について
  - 坂井市指定文化財の指定について
  - 坂井市指定文化財の解除について
  - 坂井市登録文化財の登録について
  - 坂井市指定文化財管理奨励金交付要綱の承認について
- 7月定例教育委員会〔平成23年7月29日(金)〕
  - 平成23年度教科用図書採択坂井地区協議会結果の承認について
  - 就学指定校の変更許可について
- 8月定例教育委員会〔平成23年8月30日(火)〕
  - 就学指定校の変更許可について
- 9月定例教育委員会〔平成23年9月30日(金)〕
  - 就学指定校の変更許可について
- 10月定例教育委員会〔平成23年10月31日(月)〕
  - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
  - 就学指定校の変更許可について
- 11月定例教育委員会〔平成23年11月22日(火)〕
  - 就学指定校の変更許可について
- 12月定例教育委員会〔平成23年12月21日(水)〕
  - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
  - 就学指定校の変更許可について
- 1月定例教育委員会〔平成24年1月24日(火)〕
  - 坂井市幼稚園の管理規則（平成18年坂井市教育委員会規則第13号）の一部を改正する規則の制定について

- 坂井市立小学校および中学校の管理規則（平成 18 年坂井市教育委員会規則第 15 号）の一部を改正する規則の制定について
  - 坂井市学校事務共同実施推進協議会設置要綱の制定について
  - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
  - 就学指定校の変更許可について
- 2 月定例教育委員会〔平成 24 年 2 月 22 日(水)〕
- 坂井市公民館長の服務及び事務委任に関する規則の一部を改正する規則について
  - 坂井市文化未来会議設置要綱の制定について
  - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
  - 就学指定校の変更許可について
- 3 月定例教育委員会〔平成 24 年 3 月 27 日(水)〕
- 坂井市スポーツ振興審議会条例施行規則の一部を改正する規則について
  - 坂井市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について
  - 坂井市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について
  - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
  - 坂井市奨学育英資金貸付規則の一部を改正する規則について
  - 坂井市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱について
  - 就学指定校の変更許可について
  - 坂井市体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則について
  - 坂井市公民館長の委嘱について

## 2 教育委員の活動状況

時 期	委 員 名	活 動 内 容
平成 23 年 4 月 1 日	喜寿、竹田、青柳、小嶋、川元	教職員着任式
4 月 2 日	川元	坂井地区学校運営研究大会
4 月 5 日	川元	坂井地区教育振興研究会
4 月 6 日	喜寿、竹田、青柳、小嶋、川元	市内中学校入学式
4 月 9 日	川元	しだれ桜の里ライトアップ点灯式
4 月 11 日	川元	六呂瀬山古墳群を愛する会及び越の大王祭保存会総会

時 期	委 員 名	活 動 内 容
4月12日	川元	坂井市教育研究会総会並びに坂井地区小・中学校教育研究会合同総会
		教育委員会表彰（功績賞）伝達式
4月14日	川元	坂井地教連幹事会
4月15日	川元	坂井地区幼稚園教育研究大会
4月16日	川元	坂井市文化協会総会
4月17日	喜多、竹田、青柳、小嶋、川元	新一筆啓上賞顕賞式
4月19日	川元	坂井市スポーツ少年団指導者協議会総会・代議員会
4月21日 ～22日	川元	東海北陸都市教育長協議会総会（愛知県豊川市）
4月24日	川元	坂井市市民ウォーキング大会
	喜多、川元	丸岡文化少年団入団式
	川元	坂井市女性の会総会
4月26日	川元	坂井市公民館連絡協議会理事会
4月29日	川元	坂井市スポーツ少年団入団式
5月7日	川元	坂井市PTA連合会総会
	喜多、川元	坂井市PTA連合会懇談会
5月9日	喜多、竹田、青柳、小嶋、川元	教科用図書採択坂井地区協議会
	喜多、竹田、青柳、小嶋、川元	英国派遣団報告会
5月10日	川元	議会（臨時議会）
	喜多、竹田、青柳、小嶋、	市町教育委員会連絡協議会総会および研修会
5月11日	青柳	教育委員任命辞令交付式
	川元	福井県小学校長学校運営研究大会
5月13日	川元	福井県中学校長学校運営研究大会
5月16日	川元	坂井市公民館連絡協議会総会
	川元	春江中学校区小中連携協議会総会
	川元	中高連携連絡協議会総会
5月17日	喜多、青柳、小嶋、川元	指導主事訪問（磯部小・幼）
5月18日	川元	美しい坂井地区を創る協会理事会
5月19日	竹田、青柳、川元	指導主事訪問（春江中）
5月20日	喜多、竹田、青柳、川元	指導主事訪問（兵庫小）
5月23日	喜多、川元	青少年育成坂井市民会議総会



時 期	委 員 名	活 動 内 容
5月24日	喜多、川元	坂井地区地教委連絡協議会役員会
	喜多、小嶋、青柳、竹田、川元	坂井地区地教委連絡協議会総会
5月26日～27日	川元	全国都市教育長協議会定期総会・研究大会(岐阜市)
5月27日	喜多、青柳、小嶋	指導主事訪問(高椋小・幼)
5月28日	喜多、竹田、青柳、川元	春江小学校・明章小学校運動会
	川元	坂井市食育市民ネットワーク設立総会
5月29日	川元	坂井市成人大学開講式
	喜多、小嶋、青柳、竹田、川元	坂井市市制5周年記念式典
6月1日	竹田、青柳、川元	指導主事訪問(春江西小・幼)
6月2日	青柳、小嶋、川元	指導主事訪問(平章小・幼)
	川元	議会(全員協議会)
6月3日	川元	教育研究集会(福井大学附属中学校)
	川元	社会教育委員の会議
	川元	市町教育長会議
6月5日	喜多、小嶋、青柳、竹田、川元	第6回坂井市古城マラソン
	川元	第17回日本少年野球越前東尋坊大会
6月7日	喜多、竹田、川元	指導主事訪問(三国中)
	川元	美しい坂井を創る協会総会
6月8日	竹田、青柳、小嶋、川元	指導主事訪問(鳴鹿小・幼)
	川元	青少年愛護センター補導員委嘱式
6月9日	川元	議会(6月定例会)
6月10日	喜多、青柳、川元	指導主事訪問(木部小)
6月12日	川元	坂井市長杯争奪ゲートボール大会
	川元	丸岡町ジュニア陸上競技記録会
6月13日	川元	坂井市文化祭実行委員会
6月14日	喜多、青柳、小嶋、川元	指導主事訪問(春江東小・幼)
6月15日	川元	坂井市小学校音楽会
6月16日	青柳、小嶋、川元	指導主事訪問(丸岡南中)
	川元	公民館連絡協議会 館長研修会
6月17日	川元	議会(教育民生常任委員会)
6月18日	川元	わんぱく少年団結団式
	川元	女性の会と語る会
6月21日	竹田、青柳、小嶋、川元	指導主事訪問(坂井中)

時 期	委 員 名	活 動 内 容
6月22日	喜多、竹田、青柳、川元	指導主事訪問（丸岡中）
6月23日	喜多、青柳、小鷦、川元	指導主事訪問（三国南小・幼）
6月24日	川元	議会(6月定例会)
6月26日	川元	春江町明るい社会づくり推進協議会総会
	川元	坪川家住宅保存会理事会
6月28日	喜多、青柳、小鷦、川元	指導主事訪問（春江小・幼）
7月1日	川元	英国派遣団事業説明会
7月7日	川元	坂井地区結核対策委員会
7月9日	川元	ロータリーカップ学童軟式野球大会
	川元	北陸地区体育指導委員研修会
7月12日	川元	坂井・延岡ジュニア交流隊結団式
7月14日	川元	坂井地区子ども会育成研究大会
7月21日	川元	坂井地区小学校教育課程研究集会
7月22日	喜多、小鷦、青柳、竹田、川元	教科用図書採択坂井地区協議会
7月25日	川元	坂井市教育研究会全体研修会
7月27日	川元	「心の教育講演会」 (青少年育成坂井市民会議)
7月31日	喜多、小鷦、青柳、竹田、川元	英国派遣団第一次選考会
8月1日	川元	学生茶会
8月3日	川元	坂井市学校給食従事職員研修会
8月5日	川元	北前船寄港歓迎セレモニー
8月6日	川元	メロディパーク木工館開所式
8月7日	川元	嶺北消防組合消防総合訓練
	川元	さかい夏まつり
8月10日	川元	公民館長委嘱式
8月12日	喜多	教員採用選考試験(面接)
8月20日	喜多	くちなし忌
	川元	浜四郷地区サマーフェスタ
	川元	三国地区1の部ふれあい夕涼み会
8月22日	川元	福井県都市教育長会
8月23日	川元	「NIE 実践者に学ぶ新聞活用術」会
8月27日	川元	坂井地区高等学校野球秋季大会
8月28日	川元	城のまちフェスティバル
	喜多、小鷦、青柳、竹田、川元	英国派遣団第二次選考会
9月1日	川元	議会（全員協議会）

時 期	委 員 名	活 動 内 容
9月3日	川元	三國湊「帯のまち流し」表彰式
9月4日	川元	三国中学校体育祭
	川元	磯部公民館まつり
	川元	丸岡青年会議所創立40周年記念式典
9月6日	喜多、竹田、川元	丸岡南中学校体育祭
9月7日	喜多、小嶋、青柳、竹田、川元	三国・春江・坂井中学校体育祭
9月8日	川元	議会（9月定例会本会議）
9月10日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	市内小・幼運動会（三国北・雄島・加戸・三国西・平章・長畝・磯部・春江西・大石・木部）
9月11日	喜多、竹田、小嶋、川元	兵庫小運動会・丸岡中体育祭
9月14日	喜多、川元	坂井地区中学校駅伝
9月17日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	市内小・幼運動会（三国南・高椋・鳴鹿・春江東・東十郷・大関）
9月23日	川元	高椋ふれあいまつり
	川元	三国町合唱団定期公演会
9月24日	川元	こどもが描くふるさと坂井絵画展 表彰式
9月25日	川元	のうねの郷まつり
9月27日	川元	議会（9月定例会及び全員協議会）
9月30日	川元	子育て講演会
10月2日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	丸岡中学校創立50周年記念式典
	川元	春江東部ふるさとまつり
10月4日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	坂井市小学校連合運動会
10月5日	川元	坂井市文化未来会議
10月6日	川元	坂井市民文化祭実行委員会
10月7日	川元	指導主事訪問（長畝小幼）
10月8日	川元	三国地区敬老会
	川元	延岡市姉妹都市交流使節団歓迎会
10月9日	川元	丸岡古城まつりセレモニー
10月10日	喜多、竹田、小嶋、青柳	坂井市民スポーツ祭総合開会式
10月12日	喜多、青柳、川元	指導主事訪問（坂井中）
10月13日	喜多、小嶋、青柳、川元	指導主事訪問（春江中）
10月14日	小嶋、青柳、川元	指導主事訪問（三国中）

時 期	委 員 名	活 動 内 容
10月16日	川元	坂井市総合防災訓練
	川元	鳴鹿公民館まつり
10月19日	青柳、川元	指導主事訪問（磯部小）
	川元	市町教育長研修会
10月20日	川元	坂井地区結核対策委員会
	川元	青少年愛護センター運営委員会
10月23日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	坂井市民文化祭開会式
	川元	三国木部地区ふるさとまつり
10月25日	川元	シプロ化成寄附採納
10月26日	小嶋、青柳、川元	指導主事訪問（丸岡中）
	川元	公共施設のあり方に関する市民との意見交換会(丸岡地区)
10月27日	青柳、川元	指導主事訪問（三国西小）
10月28日	喜多、小嶋、青柳、川元	指導主事訪問（大石小）
10月30日	川元	ニュースポーツ交流大会
	川元	エスキーテニス選手権秋季大会
	川元	三国地区加戸公園台祭
10月31日	川元	地教委連幹事会
11月1日	喜多、竹田、青柳、川元	指導主事訪問（大関小・幼）
	小嶋、川元	英国派遣団結団式
11月2日	竹田、青柳、	指導主事訪問（高椋小・幼）
11月6日	川元	全国小中学生かるた競技選手権福井大会
11月8日	喜多、竹田、小嶋、川元	指導主事訪問（雄島小・幼）
	川元	公共施設のあり方に関する市民との意見交換会(春江地区)
11月10日	川元	公共施設のあり方に関する市民との意見交換会(坂井地区)
11月11日	川元	坂井警察署健全育成「一筆啓上」標語表彰式
	川元	決算特別委員会講評
	川元	公共施設のあり方に関する市民との意見交換会(三国地区)
11月13日	川元	青少年健全育成福井県民大会
11月14日	川元	不登校対策推進事業講演会
11月15日	小嶋、青柳、川元	指導主事訪問（春江小・幼）

時 期	委 員 名	活 動 内 容
11月17日	喜多、竹田、青柳、川元	指導主事訪問（丸岡南中）
11月18日	喜多、竹田、青柳、川元	指導主事訪問（東十郷小・幼）
11月19日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	高椋公民館竣工式および記念講演
11月20日	川元	坂井地区子どもまつり「ドッジボール大会」
	喜多	福井県伝統芸能祭
	川元	「アーモンドの木」植樹祭
11月22日	竹田、青柳、	指導主事訪問（三国北小・幼）
11月23日	川元	坂井市の歴史文化をふりかえる図画 作文コンクール
	川元	2011 丸岡町体操祭
	川元	エバービクトリアス三国北 30周年記念式典
11月24日	川元	議会（全員協議会）
	川元	文化財保護制度説明会
11月25日	喜多、小嶋、青柳、川元	指導主事訪問（明章小）
11月26日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	坂井市青少年健全育成推進大会
	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	市P連「市長・教育委員と語る会」
11月28日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	教育委員長教育長会
	川元	ふれあい文化子どもスクール
11月30日	川元	議会(12月定例会)
12月2日	川元	第37回教育研究集会
12月3日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	坂井市男女共同参画イベント2011
12月7日	川元	芸術鑑賞（市内全小5）
12月10日	川元	まちづくり協議会活動発表会
12月11日	川元	青少年育成会議「クリスマスコンサ ートINいそべ」
12月14日	川元	パナソニック電工寄贈図書贈呈
12月17日	川元	坂井地区ふるさとづくり大会
12月19日	川元	行政改革推進本部会議
12月20日	川元	青少年育成坂井市民会議「白いポ スト贈呈式」
12月22日	喜多、小嶋、青柳、川元	教育委員会表彰(奨励賞)伝達式
12月25日	川元	ミュージックフェスティバル
1月8日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	坂井市成人式
1月10日	青柳	教育委員会表彰(功績賞)伝達式
1月14日	川元	嶺北消防組合出初式

時 期	委 員 名	活 動 内 容
1月15日	喜多、川元	坂井市体育協会新春のつどい
	喜多	教育委員会表彰(功績賞)伝達式
	川元	英国派遣団保護者説明会
1月17日	川元	文化祭実行委員会
1月19日	川元	丸岡地区区長会
1月20日	川元	学校運営研究大会
1月22日	川元	第6回坂井市小学生親善かるた大会
	川元	さかい男女共同参画ネットワーク 「新春のつどい」
1月25日	川元	議会(教育民生常任委員会)
1月26日	喜多、川元	新一筆啓上賞最終選考会
1月27日	喜多、川元	新一筆啓上賞入賞者発表会
	川元	坂井地区区長会
1月28日	川元	春江地区 PTA 懇談会
1月29日	川元	坂井市職員組合旗開き
1月31日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	県主催 教育委員懇談会(高校再編)
2月2日	川元	三国地区区長会
2月5日	川元	春節祝賀会
	川元	さぶん賞表彰式
2月7日	川元	坂井春江学校給食センターセンター プロポーザル審査会
2月7日~8日	川元	B&G 全国サミット
2月10日	川元	臨時議会
	川元	定期監査講評
2月11日	川元	坂井市民かるた競技大会
2月12日	川元	三国地区対抗小学生スポーツ大会(卓球)
2月15日	川元	教育委員会表彰(奨励賞)伝達式
	小嶋・川元	英国派遣団保護者説明会
2月16日	喜多、川元	坂井地区学校運営研究大会
2月18日	川元	坂井成人大学 閉講式
2月19日	川元	バウンドテニス大会
2月20日	川元	公民館運営に関するまち協との意見 交換会(三国地区)
2月21日	川元	議会(全員協議会)
	川元	図書館協議会

時 期	委 員 名	活 動 内 容
2月23日	川元	公民館長会議
	川元	行政改革推進本部会議
	喜多、川元	青少年育成坂井市民会議
2月26日	川元	子どもミュージカル
2月28日	川元	議会（3月定例会本会議）
2月29日	小嶋	教育委員会表彰（奨励賞）伝達式
3月1日	川元	予算特別委員会
	喜多	丸岡高等学校卒業証書授与式
3月2日	小嶋	坂井農業高等学校卒業証書授与式
	喜多	三国高等学校卒業証書授与式
	青柳	春江工業高等学校卒業証書授与式
	竹田	丸岡高等学校城東分校卒業証書授与式
3月3日	喜多、川元	「梨一賞」表彰式
3月4日	川元	坂井木部ふれあいまつり
	川元	三国公民館まつり
3月8日	竹田、川元	教育委員会表彰（奨励賞）伝達式
3月9日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	市内中学校卒業式
3月11日	川元	坂井市女性の会会員のつどい
3月13日	喜多、小嶋、竹田、青柳	教育委員会表彰（奨励賞）伝達式
3月14日	小嶋、川元	英国派遣団 壮行式
3月15日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	市内小学校卒業式
3月16日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	市内小学校卒業式
3月19日	川元	議会（教育民生常任委員会）
3月22日	川元	坂井市文化未来会議
3月23日	小嶋、川元	英国派遣団帰国報告会
3月25日	川元	大関公民館 やよい祭
3月26日	川元	議会（3月定例会・全員協議会）
3月28日	川元	英国派遣団帰国報告
	川元	寄附市民参画検討委員会
3月31日	喜多、竹田、小嶋、青柳、川元	教育委員会表彰及び教職員離任式

※ 教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。





### 3 委員会、審議会等の審議状況

名称	委員数	会議開催数	件名	種別	年月日
坂井市社会教育委員の会	15	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度社会教育関係事業の概要について</li> <li>平成23年度社会教育委員の会の運営について</li> <li>今後の公民館のあり方について</li> <li>放課後子どもプランについて</li> </ul>	協議	H23.6.3 H24.3.16
坂井市文化財保護審議会	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂井市指定文化財の新規指定、指定解除にかかる意見答申について</li> <li>坂井市登録文化財の新規登録にかかる意見答申について</li> <li>平成23年度 文化財関係事業成果について</li> <li>平成24年度 文化財関係事業計画について</li> </ul>	協議	H23.6.27 H24.2.10
坂井市スポーツ振興審議会	10	0			
坂井市図書館協議会	11	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の概要について</li> <li>平成22年度事業報告</li> <li>平成23年度事業計画</li> <li>坂井市立図書館条例の一部改正について</li> <li>平成23年度坂井市立図書館利用状況について</li> <li>平成23年度坂井市立図書館予算について</li> <li>新設坂井図書館の概要(案)について</li> </ul>	協議	H23.7.6 H24.2.21
坂井市体育指導委員会	47	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度事業計画について</li> <li>体育指導委員会及び各部会の運営について</li> <li>北陸地区体育指導委員研修会について</li> <li>ウォークラリー大会について</li> <li>ニュースポーツ教室・交流大会について</li> <li>マリン体操普及推進について</li> <li>ケーブルテレビによる体育指導委員活動紹介について</li> <li>平成23年度事業活動について</li> <li>平成24年度事業計画について</li> </ul>	協議	H23.4.18 H23.6.27 H23.9.13 H23.10.15 H23.10.30 H23.11.16 H23.11.25 H23.12.3 H23.12.13 H24.1.24 H24.1.29 H24.2.7 H24.3.3 H24.3.7 H24.3.28
坂井市心身障害児就学指導委員会	21	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身障害児の把握について</li> <li>特別支援学校(級)入校(級)該当児童生徒の総合的検査および調査について</li> <li>特別支援学校(級)入校(級)の該当児童生徒判断および就学指導について</li> </ul>	審議	H23. 4.21 H23. 6. 2 H23. 7. 6 H23. 7.13 H23. 8. 4 H23. 8.23 H23.11.24 H24. 1.27
坂井市青少年愛護センター運営委員会	20	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度青少年愛護センター事業について</li> <li>青少年の動向について</li> <li>青少年愛護センターの補導活動について</li> </ul>	協議	H23.10.20
坂井市文化未来会議	12	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化未来会議の運営について</li> <li>文化財、文化活動状況について</li> </ul>	協議	H24.3.22

#### 4 教育委員会関係の許認可の状況

##### (1) 文化財の指定状況

<指定文化財の現状>

平成24年3月31日現在

区 分	国			県指定	市指定	計
	指定	選定・選択	登録			
国 宝	1					1
重要文化財	9					9
有形文化財				14	40	54
無形文化財						0
重要有形民俗文化財						0
有形民俗文化財					1	1
重要無形民俗文化財						0
無形民俗文化財				5	6	11
特別史跡						0
史 跡	2			3	12	17
特別名勝						0
名 勝	1					1
特別天然記念物						0
天然記念物	1			3	6	10
特別名勝天然記念物						0
名勝天然記念物	1					1
重要伝統的建造物群 保存地区						0
選定保存技術						0
登録有形文化財			5		8	13
登録記念物			1			1
合 計	15	0	6	25	73	119

平成23年度

事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会



予 算 款	10 教育費	項 01 教育総務費	目 01 教育委員会費
大 事 業	002 教育委員会表彰事業	決 算 書 P. 187	
中 事 業	01 教育委員会表彰事業	所 管 部 局	教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	168千円	167千円	1千円
主 な 特 定 財 源	130千円	69千円	61千円

【事業の目的】

学校教育、社会教育、社会体育及び学術文化の振興発展に貢献した者（団体）を表彰し、学校教育及び社会教育の振興を図る。

【事業の概要】

- 報償費（記念品等） 106千円
- 需用費（消耗品費） 5千円
- 委託料（賞状事務委託料） 56千円

市教育委員会表彰内訳		
功績賞	1団体・2名	計3件
功労賞	12名	計12件
奨励賞	1団体・20名	計21件

【事業の成果と改善点等】

功績の内容に際して上記のとおり表彰した。平成24年度からは、合併後6年を経過することから、社会教育の分野でも表彰候補者が出てくることになる。表彰の時期や方法について今後検討していくことが必要である。

予 算 款	10 教育費	項 01 教育総務費	目 01 教育委員会費
大 事 業	001 教育委員会運営事業	決 算 書 P. 187	
中 事 業	01 教育委員会運営事業	所 管 部 局	教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	2,836千円	2,821千円	15千円
主 な 特 定 財 源	3,077千円	2,953千円	124千円

【事業の目的】

生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる、教育行政を一体的に推進し、創造的で人間性豊かな人材の育成を図る。

【事業の概要】

- 教育委員報酬 2,520千円
 

報酬内訳	
委員長	720千円
委員(3名)	1,800千円
- 費用弁償（教育委員研修旅費） 2千円
- 交際費（教育長交際費） 214千円
- 需用費（印刷製本費） 8千円
- 負担金 77千円
  - ・ 会議・研修参加負担金 5千円
  - ・ 県市町教育委員会連絡協議会負担金 52千円
  - ・ 県市町教育委員会連絡協議会総会負担金 20千円

教育委員会の開催	
平成23年度	13回
平成22年度	13回

【事業の成果と改善点等】

月1回の定例会および臨時会で13回の教育委員会を開催した。今後も教育委員の活動を促進し、円滑な委員会の運営を図っていく。

予算	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費	決算書
大事業	002	教育委員会事務局事業					所管 P. 189 教育局 教育委員会事務局 教育総務課
中事業	01	教育委員会事務局事業					不 用 額
予算額		決算額		決算額		不 用 額	
前年度		16,719 千円		16,282 千円		437 千円	
主な 特定 財源		38,559 千円		38,153 千円		406 千円	
		寄附金 教育振興指定寄附金 特定 奨学育英資金貸付金収入 財源 諸収入				1,500 千円 520 千円 千円 千円	

【事業の目的】  
生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる、教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の実務や円滑な運営調整を行う。

- 【事業の概要】
- 賃金（臨時自動車運転手） 1,246 千円
  - 旅費（教育長出張旅費） 65 千円
  - 需用費（消耗品費、食糧費） 176 千円
  - 委託料
    - ・ 土地建物鑑定評価委託料 165 千円
    - ・ 資料作成業務委託料（省エネ推進） 2,068 千円
  - 使用及び賃借料
    - ・ 丸岡南中・春江坂井給食・三国運動公園温水プール・みくに文化未来館・三国運動公園・みくに龍翔館・丸岡中学校 190 千円
    - ・ 車両借上料、駐車場使用料 168 千円
    - ・ 有料道路通行料 22 千円
  - 負担金
    - ・ 坂井地区地教委連負担金他 6,642 千円
    - ・ その他負担金（市町教育長会他） 241 千円
  - 補助金
    - ・ 教育研究会補助金他 3,289 千円
  - 貸付金
    - ・ 奨学育成資金貸付者 11 件（前年度8件） 2,200 千円

各種行事、イベント等の後援承認事務	
平成23年度	140 件
平成22年度	131 件

【事業の成果と改善点等】  
教育行政全般にわたる事務調整、県及び他市との情報交換と連携に努めた。特に、省工  
ネ法の改正にともない、主要な教育施設の現状調査と今後の計画策定を行った。

予算	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費	決算書
大事業	002	小学校管理事業					所管 P. 191 教育局 教育委員会事務局 教育総務課
中事業	01	小学校管理事業					不 用 額
予算額		決算額		決算額		不 用 額	
前年度		118,761 千円		114,989 千円		3,772 千円	
主な 特定 財源		120,576 千円		117,979 千円		2,597 千円	
		寄附金 教育振興指定寄附金 特定 緊急雇用創出事業補助金 財源 諸収入 教育費雑入				10,150 千円 2,668 千円 215 千円	

【事業の目的】  
市内20の小学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持  
することで義務教育の充実を図る。

- 【事業の概要】
- 賃金・旅費（臨時職員用務員） 13,541 千円
  - 小学校施設維持管理経費 47,392 千円
  - ・ 需用費（修繕料他） 14,472 千円
 

市内小学校の修繕件数	
平成23年度	112 件
平成22年度	111 件
  - ・ 役務費（火災保険他） 5,393 千円
  - ・ 委託料（各種保守点検委託料他） 27,527 千円
  - 使用料及び賃借料（土地借上料他） 35,865 千円
  - 工事請負費（遊具新設工事費） 3,570 千円
    - ・ 三国南（雲梯）・三国北（雲梯）・加戸（滑り台）・三国西（鉄棒）
    - ・ 磯部（ハントウ棒）・春江西（滑り台）・大関（平均台）・木部（鉄棒）
  - 原材料費（机天板、椅子座面、川砂等） 2,064 千円
  - 公有財産購入費（学校用地購入費） 6,878 千円
  - 備品購入費（児童机、椅子、暖房機、テレビ等） 5,679 千円

市内小学校の主な備品購入数	
テレビ	21 台
暖房機	30 台

【事業の成果と改善点等】  
市内20の小学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に  
努めた。耐震補強工事・大規模改修との兼ね合いを見ながら適切な維持管理に努めたい。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費
大事業	002 小学校管理事業		決 算 書 P. 191
中事業	02 三国小学校管理事業		所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	22,449 千円	22,001 千円	448 千円
前年度	22,070 千円	20,513 千円	1,557 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】  
三国地区5小学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。

【事業の概要】

- 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 19,883 千円
- 役務費（通信運搬費、手数料） 1,039 千円
- 委託料（各種保守点検委託料） 858 千円
- 使用料及び賃借料（コピー機リース料等） 221 千円

【事業の成果と改善点等】

三国地区5小学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費
大事業	002 小学校管理事業		決 算 書 P. 193
中事業	03 丸岡小学校管理事業		所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	34,101 千円	33,618 千円	483 千円
前年度	33,859 千円	31,977 千円	1,882 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】  
丸岡地区6小学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。

【事業の概要】

- 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 30,956 千円
- 役務費（通信運搬費、手数料） 1,437 千円
- 委託料（各種保守点検委託料） 999 千円
- 使用料及び賃借料（コピー機リース料等） 226 千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡地区6小学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費
大 事 業	002 小学校管理事業		決 算 書 P. 193
中 事 業	04 春江小学校管理事業		所管 教育委員会事務局 部局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	23,356 千円	22,044 千円	1,312 千円
前年度	22,571 千円	20,800 千円	1,771 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】  
春江地区4小学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。

【事業の概要】

- 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 20,175 千円
- 役務費（通信運搬費、手数料） 1,046 千円
- 委託料（各種保守点検委託料） 672 千円
- 使用料及び賃借料（コピー機リース料等） 151 千円

【事業の成果と改善点等】

春江地区4小学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費
大 事 業	002 小学校管理事業		決 算 書 P. 193
中 事 業	06 坂井小学校管理事業		所管 教育委員会事務局 部局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	14,910 千円	14,473 千円	437 千円
前年度	16,077 千円	15,038 千円	1,039 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】

坂井地区4小学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。

【事業の概要】

- 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 12,929 千円
- 役務費（通信運搬費、手数料） 728 千円
- 委託料（各種保守点検委託料） 601 千円
- 使用料及び賃借料（コピー機リース料等） 215 千円

【事業の成果と改善点等】

坂井地区4小学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。



予算款	10 教育費	項 03 中学校費	目 01 学校管理費	決算書
大事業	002	中学校管理事業		決算書 P. 199
中事業	01	中学校管理事業		所管 部局 教育局 教育総務課
	予算額	決算額	不用額	
前年度	36,204 千円	32,104 千円	4,100 千円	
主な 特定 財源	40,931 千円	40,229 千円	702 千円	
	教育振興指定寄付金 紫高雇用創出事業補助金 融雪ポンプ景負担金		1,150 千円 1,339 千円 120 千円	
【事業の目的】 市内5の中学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。				
【事業の概要】				
○賃金・旅費（臨時職員用役員） 2,064 千円				
○中学校施設維持管理経費 16,707 千円				
・ 需用費（修繕料他） 3,539 千円				
市内中学校の修繕件数				
平成23年度		29 件		
平成22年度		37 件		
・ 役務費（火災保険他） 1,095 千円				
・ 委託料（各種保守点検委託料他） 12,073 千円				
○使用料及び賃借料（土地借上料他） 8,010 千円				
○原材料費（机天板・椅子座面・川砂等） 1,071 千円				
○公有財産購入費（学校用地購入費） 2,415 千円				
坂井市香江町随庵寺係 1 筆				
○備品購入費（生徒机・椅子・暖房機・テレビ等） 1,837 千円				
市内中学校の主な備品購入数				
テレビ		8 台		
暖房機		5 台		
【事業の成果と改善点等】 市内5中学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するたため教育環境の改善に努めた。耐震補強工事・大規模改修との兼ね合いを見ながら適切な維持管理に努めたい。				

予算款	10 教育費	項 03 中学校費	目 01 学校管理費	決算書
大事業	002	中学校管理事業		決算書 P. 199
中事業	02	三国中学校管理事業		所管 部局 教育局 教育総務課
	予算額	決算額	不用額	
前年度	8,602 千円	8,346 千円	256 千円	
主な 特定 財源	8,446 千円	7,590 千円	856 千円	
【事業の目的】 三国中学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。				
【事業の概要】				
○需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 7,311 千円				
○役務費（通信運搬費、手数料） 437 千円				
○委託料（各種保守点検委託料） 554 千円				
○使用料及び賃借料（CATV利用料等） 44 千円				
【事業の成果と改善点等】 三国中学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するたため教育環境の改善に努めた。				

予算	款	項	03 中学校費	目	01 学校管理費				
大事業	002	中学校管理事業			決算書 P. 201				
中事業	03	丸岡中学校管理事業			所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課				
	予	算	額	決	算	額	不	用	額
			22,063 千円		22,038 千円				25 千円
前年度			21,651 千円		21,356 千円				295 千円
主な 特定 財源									千円 千円 千円
【事業の目的】 丸岡地区中学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。									
【事業の概要】 ○需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 20,418 千円 ○役務費（通信運搬費・手数料） 719 千円 ○委託料（各種保守点検委託料） 820 千円 ○使用料及び賃借料（CATV利用料等） 81 千円									
【事業の成果と改善点等】 丸岡地区2中学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。									

予算	款	項	03 中学校費	目	01 学校管理費				
大事業	002	中学校管理事業			決算書 P. 201				
中事業	04	春江中学校管理事業			所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課				
	予	算	額	決	算	額	不	用	額
			8,727 千円		8,627 千円				100 千円
前年度			8,898 千円		8,708 千円				190 千円
主な 特定 財源									千円 千円 千円
【事業の目的】 春江中学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。									
【事業の概要】 ○需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 7,703 千円 ○役務費（通信運搬費、手数料） 414 千円 ○委託料（各種保守点検委託料） 464 千円 ○使用料及び賃借料（CATV利用料等） 46 千円									
【事業の成果と改善点等】 春江中学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。									

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 01 学校管理費	決 算 書
大事業	002	中学校管理事業		P. 201
中事業	05	坂井中学校管理事業		所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
	6,108 千円	5,862 千円	246 千円	
前年度	6,411 千円	6,278 千円	133 千円	
主な 特定 財源			千円 千円 千円	
【事業の目的】 坂井中学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと義務教育の充実を図る。				
【事業の概要】				
○需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 5,186 千円				
○役務費（通信運搬費、手数料） 286 千円				
○委託料（各種保守点検委託料） 345 千円				
○使用料及び賃借料（CATV利用料等） 45 千円				
【事業の成果と改善点等】 坂井中学校の維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。				

予 算 款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園総務費	決 算 書
大事業	002	幼稚園管理事業		P. 205
中事業	01	幼稚園管理事業		所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
	6,209 千円	5,875 千円	334 千円	
前年度	10,143 千円	9,678 千円	465 千円	
主な 特定 財源	原支出金 緊急雇用創出事業補助金		335 千円 千円 千円	
【事業の目的】 市内11の幼稚園の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと幼児教育の充実を図る。				
【事業の概要】				
○報償費・旅費（園長等） 566 千円				
○幼稚園施設維持管理経費 4,144 千円				
・ 需用費（修繕料他） 1,485 千円				
市内幼稚園の修繕件数				
平成23年度 41 件				
平成22年度 23 件				
・ 役務費（火災保険他） 491 千円				
・ 委託料（各種保守点検委託料他） 2,168 千円				
○使用料及び賃借料（車両借上等） 42 千円				
○原材料費（砂場用川砂） 45 千円				
○備品購入費（加戸幼稚園冷蔵庫） 51 千円				
○負担金（大会参加負担金） 27 千円				
○補助金（私立幼稚園運営補助金） 1,000 千円				
【事業の成果と改善点等】 市内11幼稚園の維持管理を行い、充実した幼児教育を推進するため教育環境の改善に努めた。国の幼保一元化に向けた取り組みと坂井市が目指すべき幼児教育の方向性を地域の理解を得ながら進める必要がある。				

予 算 款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園総務費
大事業	002	幼稚園管理事業	決 算 書 P. 207
中事業	02	三国幼稚園管理事業	所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	3,496 千円	3,050 千円	446 千円
前年度	3,378 千円	2,880 千円	498 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】

三国地区5幼稚園の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持  
 することで幼児教育の充実を図る。

【事業の概要】

- 需用費 (消耗品費、光熱水費、修繕料等) 2,558 千円
- 役員費 (通信運搬費、手数料) 381 千円
- 委託料 (各種保守点検委託料) 69 千円
- 使用料及び賃借料 (コピー機リース料他) 42 千円

【事業の成果と改善点等】

三国地区5幼稚園の維持管理を行い、充実した幼児教育を推進するため、教育環境の改  
 善に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園総務費
大事業	002	幼稚園管理事業	決 算 書 P. 207
中事業	03	春江幼稚園管理事業	所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	1,421 千円	1,283 千円	138 千円
前年度	1,385 千円	1,230 千円	155 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】

春江地区4幼稚園の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持  
 することで幼児教育の充実を図る。

【事業の概要】

- 需用費 (消耗品費、光熱水費、修繕料等) 1,025 千円
- 役員費 (通信運搬費、手数料) 171 千円
- 委託料 (各種保守点検委託料) 73 千円
- 使用料及び賃借料 (コピー機リース料他) 14 千円

【事業の成果と改善点等】

春江地区4幼稚園の維持管理を行い、充実した幼児教育を推進するため、教育環境の改  
 善に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園総務費	決 算 書 P. 207
大事業 002	幼稚園管理事業			所管 部局
中事業 04	坂井幼稚園管理事業			教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
前年度	757 千円	624 千円	133 千円	
主な 特定 財源	763 千円	615 千円	148 千円	千円 千円 千円

【事業の目的】  
坂井地区2幼稚園の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することによって幼児教育の充実を図る。

【事業の概要】

- 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料等） 467 千円
- 役務費（通信運搬費、手数料） 119 千円
- 委託料（各種保守点検委託料） 38 千円

【事業の成果と改善点等】

坂井地区2幼稚園の維持管理を行い、充実した幼児教育を推進するため、教育環境の改善に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 07 社会教育施設費	決 算 書 P. 223
大事業 002	キンダナーホール管理運営事業			所管 部局
中事業 01	キンダナーホール管理運営事業			教育委員会事務局 教育総務課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
前年度	1,189 千円	1,128 千円	61 千円	
主な 特定 財源	1,225 千円	1,089 千円	136 千円	千円 千円 千円

【事業の目的】

放課後の児童・生徒の居場所として当該施設を開放することにより、青少年の健全育成を図る。

【事業の概要】

- 賃金（臨時職員） 843 千円
- 需用費（消耗品、燃料費、光熱水費） 219 千円
- その他施設維持管理費（役務費、使用料及び賃貸借料） 66 千円

【開館時間】 月・火・水・木・金（午後3時～6時）  
（土曜日・日曜日・祝日・祭日・年末年始は休館）

【児童の利用状況】

	年間利用者数	日平均利用者数	単位：人
平成23年度	1,882	7.5	
平成22年度	1,942	7.6	

【事業の成果と改善点等】  
放課後の子ども居場所として必要な施設管理を行った。施設の有効利用を図ることを目的に、三国地区まち協と協議を進めている。

予 算 款	13 諸支出金	項 02 基金費	目 14 教育振興整備基金費	予 算 額	決 算 額	不 用 額
大事業	001 教育振興整備基金		決 算 書 P. 243 教育委員会事務局 教育総務課			
中事業	01 教育振興整備基金					
予 算	予 算 額	決 算 額	不 用 額			
前年度	49 千円	48 千円	1 千円			
主な 特定 財源	325 千円 教育振興整備基金利子					48 千円 千円 千円
【事業の目的】 坂井市の将来を担う子どもたちを健全に育成することを目的とした学校教育の振興及び 学校施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置する。						
【事業の概要】 ○積立金（教育振興整備基金利子） 48 千円						
教育振興整備基金の概要						
平成22年度末基金残高 76,644 千円						
積立金 48 千円						
平成23年度末基金残高 76,692 千円						
なお、繰越事業（三国南・高萩・春江小学校耐震改修事業）において、教育振 興整備基金46,000千円を財源充当しているため、平成24年度で取り崩す予定。						
予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費	予 算 額	決 算 額	不 用 額
大事業	003 小学校施設整備事業		決 算 書 P. 193 教育委員会事務局 教育施設整備課			
中事業	01 小学校施設整備事業					
予 算	予 算 額	決 算 額	不 用 額			
前年度	1,398,712 千円	601,486 千円	797,226 千円			
主な 特定 財源	1,169,025 千円 施設整備費補助金 合併特例事業債	487,976 千円	681,049 千円 107,536 千円 428,000 千円			
【上記決算額内訳】						
当該年度分	予 算 額	24,492 千円	決 算 額	23,972 千円		
前年度繰越分	繰越分予算額	656,220 千円	繰越分決算額	577,514 千円		
	次年度への繰越額	718,000 千円				
【事業の目的】 小学校の耐震補強を図り、児童の安全安心を確保するため、耐震診断結果により作成さ れた整備計画に基づき、補強計画・実施設計及び補強工事を実施する。						
【事業の概要】 ○役務費 ・申請手数料他 148 千円 ○委託料 ・三国南小学校舎 耐震補強工事監理委託料 27,919 千円 ・高萩小学校舎 耐震補強工事監理委託料 4,116 千円 ・春江小学校舎 耐震補強工事監理委託料 2,698 千円 ・長畝小学校舎 耐震補強計画・実施設計業務委託料 3,360 千円 ・東十郷小学校舎 耐震補強計画・実施設計業務委託料 4,410 千円 13,335 千円 ○工事請負費 ・春江小 屋内運動場屋根改修工事 573,419 千円 ・三国南小学校舎 耐震補強工事 6,090 千円 ・高萩小学校舎 耐震補強工事 252,222 千円 ・春江小学校舎 耐震補強工事 133,111 千円 181,996 千円						
【事業の成果と改善点等】 耐震改修事業においては、子どもたちの安全安心を図る上での教育環境の整備及び地域 住民の避難場所としての機能を確立するため、施設整備計画に沿った整備を図った。今 後、施設整備計画に基づいた整備を継続するため、整備内容についてさらに検討してい く。また、国のより有利な補助制度を活用していく。						
成果指標 目標値 実績値 備考						
耐震化率 100% 81% H27年度完了予定 (H22年度：76%) (H24.4.1現在)						

予 算 款	13 諸支出金	項 02 基金費	目 14 教育振興整備基金費	予 算 額	決 算 額	不 用 額
大事業	001 教育振興整備基金		決 算 書 P. 243 教育委員会事務局 教育総務課			
中事業	01 教育振興整備基金					
予 算	予 算 額	決 算 額	不 用 額			
前年度	49 千円	48 千円	1 千円			
主な 特定 財源	325 千円 教育振興整備基金利子					48 千円 千円 千円
【事業の目的】 坂井市の将来を担う子どもたちを健全に育成することを目的とした学校教育の振興及び 学校施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置する。						
【事業の概要】 ○積立金（教育振興整備基金利子） 48 千円						
教育振興整備基金の概要						
平成22年度末基金残高 76,644 千円						
積立金 48 千円						
平成23年度末基金残高 76,692 千円						
なお、繰越事業（三国南・高萩・春江小学校耐震改修事業）において、教育振 興整備基金46,000千円を財源充当しているため、平成24年度で取り崩す予定。						
【事業の成果と改善点等】 教育施設の整備に必要な財源として有効に活用した。競艇収益金を原資としているが、 今後予定している耐震改修事業の予算規模は多額であることから、基金の増額が望まれ る。						

予算款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 中学校管理費
大事業	003	中学校施設整備事業			決算書 P. 201
中事業	01	中学校施設整備事業			所管 部局 教育局 教育施設整備課
予算	額	決算額	額	決算額	額
1,247,632 千円		824,940 千円		422,692 千円	
前年度	42,105 千円	42,063 千円		42 千円	
主な	国庫支出金	施設整備費負担金		5,946 千円	
特定	国庫支出金	施設整備費補助金		145,864 千円	
財源	市債	合併特別事業債		503,100 千円	
【上記決算額内訳】					
当該年度分	予算額	828,164 千円	決算額	824,940 千円	
前年度繰越分	繰越分予算額	0 千円	繰越分決算額	0 千円	
次年度への繰越額		419,468 千円			
【事業の目的】					
市内4中学校（三国中学校・丸岡中学校・春江中学校・坂井中学校）の耐震補強を図り、生徒の安全安心を確保するため、耐震診断結果により作成された整備計画に基づき、中学校施設整備を行う。					
【事業の概要】					
○役務費					
・申請手数料他 608 千円					
○委託料					
・坂井中学校 耐震補強工事監理委託料 44,406 千円					
・春江中学校 耐震改修工事設計業務委託料 8,012 千円					
・丸岡中学校 耐震改修工事設計業務委託料 24,340 千円					
○工事請負費					
・坂井中学校 屋内運動場・情報棟増設改築工事 12,054 千円					
・坂井中学校 北校舎・西渡り廊下耐震改修工事 775,553 千円					
・坂井中学校 仮設校舎建設工事 240,000 千円					
・坂井中学校 耐震改修電気工事 335,738 千円					
・坂井中学校 耐震改修設備工事 79,950 千円					
・坂井中学校 機械警備改修工事 65,280 千円					
・坂井中学校 備品購入費 53,550 千円					
・坂井中学校 家具備品他 1,035 千円					
・坂井中学校 4,373 千円					
【事業の成果と改善点等】					
校舎等の耐震診断結果により作成された中学校施設整備基本方針や中学校施設整備計画に基づいた整備を実施するため、整備内容についてさらに検討していく。また、国のより有利な補助制度を活用していく。					
成果指標	目標値	実績値	備考		
耐震化率	100%	57%	H27年度完了予定 (H22年度：54%)	(H24.4.1現在)	

予算款	10 教育費	項	04 幼稚園費	目	01 幼稚園総務費
大事業	003	幼稚園施設整備事業			決算書 P. 207
中事業	01	幼稚園施設整備事業			所管 部局 教育局 教育施設整備課
予算	額	決算額	額	決算額	額
2,678 千円		2,678 千円		0 千円	
前年度	2,091 千円	1,260 千円		831 千円	
主な	国庫支出金	地域住宅支援総合交付金		892 千円	
特定				千円	
財源				千円	
【事業の目的】					
幼稚園の耐震補強を図り、園児の安全安心を確保するとともに幼保一元化のスケジュールに対応して幼稚園への改修を計画するため、耐震診断を実施する。					
【事業の概要】					
○委託料					
・三国南幼稚園、三国西幼稚園、春江幼稚園 園舎二次診断 2,678 千円					
【事業の成果と改善点等】					
幼保一元化計画に基づき、園舎の耐震診断結果を踏まえた耐震補強と幼保園化改修の施設整備計画を検討していく。					
成果指標	目標値	実績値	備考		
耐震化率	100%	50%	H22年度：44%	(H24.4.1現在)	
※二次診断の結果、三国西幼稚園が「耐震性あり」と診断されたことにより、実績値が向上した。					

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費		
大事業	003	教育相談事業			決算書 P. 187						
中事業	01	教育相談事業			所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課						
予		算		額		決		算		額	
前年度		24,371千円		23,455千円		916千円					
主な	県支出金	問題を抱える子どもたち等の自立支援事業委託金				582千円					
特定	県支出金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金				350千円					
財源	県支出金	緊急雇用創出事業臨時特別基金事業補助金				783千円					
						8,880千円					

【事業の目的】  
市内小中学校の児童生徒の不登校の未然防止及び不登校対策として、早期の学級復帰への支援、併せて保護者に対して子どもとの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。

- 【事業の概要】
- ◆教育相談事業 本庁 / 問題行動サポート事業 本庁 / スクールソーシャルワーカー活用事業 本庁 14,575千円
  - 賞金・旅費 13,721千円
  - (適応指導教室指導員5名、訪問指導員1名、ライフパートナー、自立支援指導員1名、スクールソーシャルワーカー1名)
  - 報償費 (講師謝礼) 90千円
  - 需用費 (消耗品費、光熱水費他) 399千円
  - 役務費 (電話料、火災保険料、傷害保険料) 218千円
  - 委託料 (各種保守点検料他) 95千円
  - 使用料及び賃借料 (インターネット使用料、車両借上料他) 52千円
  - ◆学級復帰支援事業 本庁 8,880千円
  - 【緊急雇用創出事業臨時特別基金事業補助金を活用】
  - 賞金 5校 5名 8,877千円
  - 使用料及び賃借料 (車両借上料) 3千円

適応指導教室の成果

通室者数	復帰者数	復帰率	不登校児童生徒数
平成23年度 12	10	83.3	小学校 中学校 合計
平成22年度 11	9	81.8	平成23年度 13 43 56
			平成22年度 15 54 69

不登校による欠席日数が30日以上の人数

【事業の成果と改善点等】  
平成23年度、市内に3箇所あった適応指導教室の拠点化を実施し、指導員同士の緊密な連携や効率的な運営を実施することができた。  
また、市内中学校に1名ずつ学級復帰支援員を配置し、学級復帰の支援に努めた。

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費		
大事業	004	学級運営支援事業			決算書 P. 189						
中事業	01	学級運営支援事業			所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課						
予		算		額		決		算		額	
前年度		64,500千円		61,254千円		3,246千円					
主な	県支出金	緊急雇用創出事業臨時特別基金事業補助金				1,874千円					
特定	県支出金	緊急雇用創出事業臨時特別基金事業補助金				35,960千円					
財源						千円					

【事業の目的】  
市内の小中学校において、学習面、学校生活面で特別な支援を必要とする児童に、支援員を配置し、当該児童・生徒を個別に支援するとともに、円滑な学級運営を展開し、学級支援体制の充実を図る。

- 【事業の概要】
- ◆学級運営支援事業 本庁 25,294千円
  - 賞金 小学校学級支援員 小学校17校21名 25,259千円
  - 旅費 1千円
  - 使用料及び賃借料 校外学習バス代等 34千円
  - ◆教員活動補助事業 本庁 35,960千円
  - 【緊急雇用創出事業臨時特別基金事業補助金を活用】
  - 賞金 小学校生活支援員 17校 28名 35,912千円
  - 中学校生活支援員 2校 2名
  - 使用料及び賃借料 日本語教育支援員 小学校2校1名・中学校1校1名 48千円
  - 使用料及び賃借料 校外学習バス代等

【事業の成果と改善点等】  
学習面や生活面で特別な支援を必要とする児童・生徒や外国からの転校生のために学級支援員、生活支援員、日本語教育支援員を配置して個別に支援することにより、円滑な学級運営を展開し、学習支援体制の充実を図ることができた。



予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費	決 算 書
大事業	004	小学校児童健康管理事業		P. 195
中事業	01	小学校児童健康管理事業		教育委員会事務局 学校教育課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
	23,775 千円	23,644 千円	131 千円	
前年度	24,513 千円	24,190 千円	323 千円	
主な 特定 財源	諸収入 日本スポーツ振興センター負担金		2,530 千円	
【事業の目的】 小学校における児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。				
【事業の概要】 ◆小学校児童健康管理事業 本庁 23,644 千円 学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。 ○内科及び歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年） ○寄生虫（1年～3年）、ぎょう虫（1年～3年）、尿（全学年）、尿（全学年）、尿（全学年）、尿（全学年） 心電図（1年）				
	○報償費（校医手当）	15,932 千円		
	○需用費（事務用消耗品）	73 千円		
	○役務費（検査機器点検手数料）	19 千円		
	○委託料（健康診断委託料）	2,201 千円		
	○負担金（日本スポーツ振興センター負担金）	5,419 千円		
	日本スポーツ振興センター共済			
	加入者数	給付件数		
	平成23年度 5,764人	480件		
	平成22年度 5,924人	438件		
【事業の成果と改善点等】 健康診断を実施することにより、児童の適正な健康管理、健康増進を図った。 平成24年度からは眼科・耳鼻科の専門医健診を見直し、学校医が内科健診と併せて行う。				

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大事業	001	小学校教育振興事業		P. 195
中事業	01	小学校教育振興事業		教育委員会事務局 学校教育課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
	106,735 千円	104,799 千円	1,936 千円	
前年度	106,951 千円	104,122 千円	2,829 千円	
主な 特定 財源	県支出金 低学年学校生活サポート推進事業補助金 豊かな心を育てる体験活動推進事業補助金 コア・ティーチャー養成事業補助金		979 千円 162 千円 162 千円	
【事業の目的】 児童に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。				
【事業の概要】 ◆小学校教育振興事業 本庁 104,475 千円 ○賞金 外国語指導助手 7名 4,250 千円 ○報償費 卒業記念品（英和辞典） 1,030 千円 ○需用費 消耗品費（教材用消耗品）教師用教科書他 20,047 千円 印刷製本費（就学通知用封筒） 70 千円 ○役務費 手数料（デジタル化対応） 2,014 千円 ○委託料 システム保守点検 2,046 千円 学習奨励事業委託（理科・図画・書写作品） 155 千円 校務及び教育用コンピュータ保守業務他 66,827 千円 校外学習バス借上げ他 5,734 千円 特別支援学級増に伴う教材備品 1,046 千円 特別支援学級合同学習会負担金他 277 千円 低学年学校生活サポート推進事業補助金 979 千円 ◆豊かな心を育てる体験活動推進事業 162 千円 対象校（明章小学校・木部小学校） ○報償費 消耗品費（活動用消耗品） 24 千円 ○需用費 消耗品費（教材用品） 11 千円 ○使用料及び賃借料 体験活動使用料 127 千円 ○使用料及び賃借料 体験活動使用料 162 千円 ◆コア・ティーチャー養成事業 対象校（大関小学校） ○需用費 消耗品費（教材用品） 19 千円 ○備品購入費 教材用備品 143 千円 【事業の成果と改善点等】 教育用・校務用パソコン及びデジタルテレビなど教育環境の構築により、生徒の学力向上及びわかりやすい授業の展開に取り組んだ。新学習指導要領に基づく改訂に伴い、教師用教科書の充実を図った。				

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業			決算書 P. 195				
中事業	02	三国小学校教育振興事業			所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課				
予算額		決算額		不用額					
前年度		6,990千円	6,759千円	231千円					
主な 特定 財源		5,715千円	5,537千円	178千円					

【事業の目的】

児童に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】

- ◆小学校教育振興事業 三国地区小学校 6,759千円
- 三国南小・三国北小・雄島小・加戸小・三国西小にて対応する教育振興事業
- 報償費 講師謝礼 29千円
- 需用費 消耗品費(教材用) 2,498千円
- 印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷) 169千円
- 修繕料(教材備品の修繕) 92千円
- 備品購入費 教材用備品 3,013千円
- 図書購入費 958千円

【事業の成果と改善点等】

パソコンやデジタルテレビなども活用しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、児童自ら学び、自ら考える力の育成等教育振興の充実に図られた。学校図書館図書標準図書冊数の不足校については、計画的に図書の整備、充実に図っていく必要がある。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業			決算書 P. 197				
中事業	03	丸岡小学校教育振興事業			所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課				
予算額		決算額		不用額					
前年度		9,868千円	9,602千円	266千円					
主な 特定 財源		8,774千円	8,550千円	224千円					

【事業の目的】

児童に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】

- ◆小学校教育振興事業 丸岡地区小学校 9,602千円
- 平草小・長畝小・高椋小・鳴鹿小・磯部・明草小にて対応する教育振興事業
- 報償費 講師謝礼 55千円
- 需用費 消耗品費(教材用) 3,846千円
- 印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷) 252千円
- 修繕料(教材備品の修繕) 189千円
- 備品購入費 教材用備品 3,856千円
- 図書購入費 1,404千円

【事業の成果と改善点等】

パソコンやデジタルテレビなども活用しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、児童自ら学び、自ら考える力の育成等教育振興の充実に図られた。学校図書館図書標準図書冊数の不足校については、計画的に図書の整備、充実に図っていく必要がある。

予算款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業	決算書 P. 197
中事業	04	香江小学校教育振興事業	所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
7,219 千円	7,114 千円	105 千円	
前年度	6,402 千円	138 千円	
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】  
児童に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】  
◆小学校教育振興事業 香江地区小学校 7,114 千円  
香江小・香江西小・大石小・香江東小にて対応する教育振興事業  
○報償費 23 千円  
○需用費 2,831 千円  
消耗品費 (教材用) 218 千円  
印刷製本費 (卒業証書・保健調査票等の印刷) 179 千円  
修繕料 (教材備品の修繕) 2,820 千円  
教材用備品 1,043 千円  
図書購入費

【事業の成果と改善点等】  
パソコンやデジタルテレビなども活用しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、児童自ら学び、自ら考える力の育成等教育振興の充実が図られた。学校図書館図書標準図書冊数の不足校については、計画的に図書の整備、充実を図っていく必要がある。

予算款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業	決算書 P. 197
中事業	05	坂井小学校教育振興事業	所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
5,153 千円	5,054 千円	99 千円	
前年度	4,090 千円	3,992 千円	98 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】  
児童に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】  
◆小学校教育振興事業 坂井地区小学校 5,054 千円  
東十郷小・大関小・兵庫小・木部小にて対応する教育振興事業  
○報償費 31 千円  
○需用費 1,811 千円  
消耗品費 (教材用) 178 千円  
印刷製本費 (卒業証書・保健調査票等の印刷) 95 千円  
修繕料 (教材備品の修繕) 2,281 千円  
教材用備品 658 千円  
図書購入費

【事業の成果と改善点等】  
パソコンやデジタルテレビなども活用しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、児童自ら学び、自ら考える力の育成等教育振興の充実が図られた。学校図書館図書標準図書冊数の不足校については、計画的に図書の整備、充実を図っていく必要がある。

予算款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業		決算書 P. 197	
中事業	08	ふれあい交流事業		所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課
	予算額	決算額	不用額		
	5,276千円	4,551千円	725千円		
前年度	5,676千円	4,936千円	740千円		
主な 特定 財源	寄附金 指定寄附金		378千円 千円 千円		

【事業の目的】

市の将来を担う子どもたちが、様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持つよう、子どもたちの交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進し、それぞれの交流の広がりから市民の融和を図る。

【事業の概要】

市内19小学校を対象に、音楽交流会・連合運動会・中学校訪問・自然教室・スキーク等の事業を行う。

◆ふれあい交流事業 本庁

- 報償費(講師謝礼) 4,551千円
- 需用費(地域交流事業消耗品費、贈材料費) 29千円
- 委託料 297千円
- ・音楽会運営委託料 80千円
- ・連合運動会運営委託料 70千円
- ・芸術鑑賞業務委託 850千円
- ・園場管理委託料 102千円
- 使用料及び賃借料(車両借上料他) 3,123千円

【事業の成果と改善点等】

県などが実施する事業と比較して、効果面で類似している事業について見直しを行った。平成24年度から芸術鑑賞業務委託は取りやめる。

予算款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業		決算書 P. 197	
中事業	09	学力充実推進事業		所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課
	予算額	決算額	不用額		
	2,312千円	2,184千円	128千円		
前年度	2,320千円	2,242千円	78千円		
主な 特定 財源			千円 千円 千円		

【事業の目的】

児童一人ひとりの「確かな学力」の育成状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために学力調査を行い、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。

【事業の概要】

毎年4月に小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査にあわせて、全小学校2～6年生の国語・算数の学力調査を行う。

全国で実施した大規模モニター調査によって標準化された「偏差値」に基づき、坂井市における児童の「確かな学力」を評価する。

◆学力充実推進事業 本庁

- 委託料(学力調査委託料) 2,184千円
- 委託料(学力調査委託料) 2,184千円

【事業の成果と改善点等】

調査結果を踏まえ、各小学校の課題を見つける。そして、その課題を解決することを目的として各小学校の研究主任によるワークショップを開催し、学力向上のための取り組みを行った。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	002	児童就学援助事業		決算書 P. 197					
中事業	01	児童就学援助事業		所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課				
	予算	額	決算	額	不 用	額			
前年度	21,335	千円	20,178	千円	1,157	千円			
主な 特定 財源	国庫支出金 特別支援教育就学奨励費補助金 被災児童生徒援助費補助金 要保護児童生徒援助費補助金	19,867	千円	18,880	千円	987	千円	730	千円
								38	千円
								27	千円

【事業の目的】  
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】  
経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・医療費・通学費等、学校教育に必要な経費の一部を援助する。

- ◆児童就学援助事業 本庁 20,178 千円
- 扶助費
  - ・特別支援教育就学援助費 (67人) 2,075 千円
  - ・要・準要保護児童就学援助費 (286人) 18,103 千円

【事業の成果と改善点等】  
就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な扶助費交付を行った。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	006	通学支援事業		決算書 P. 197					
中事業	01	通学支援事業		所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課				
	予算	額	決算	額	不 用	額			
前年度	46,077	千円	44,328	千円	1,749	千円			
主な 特定 財源	国庫支出金 ハき地児童生徒援助費等補助金 スクールバス利用者協力金	51,394	千円	48,644	千円	2,750	千円	201	千円
								7,497	千円
									千円

【事業の目的】  
市内の小学校に通学する児童に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行するなど、遠距離通学の解消と、より安心安全な通学を確保することを目的とする。

【事業の概要】  
通学距離が概ね1.5 km以上の地区の児童に対して、委託スクールバスの運行や路線バス利用料金の補助を行う。

バスを利用して通学する児童の安全を確保するため、区が設置する通学バス停の整備に要する経費について補助する。  
新築：経費の1/2以内 500千円限度  
改修：経費の1/3以内 300千円限度

- ◆通学支援事業 本庁 44,328 千円
- 需用費 (乗車証印刷製本費) 40 千円
- 委託料 37,672 千円
  - ・スクールバス運行
    - 三国地区1台
    - 丸岡地区7台
    - 香江地区4台
    - 坂井地区3台
  - 使用料及び賃借料 (車両借上料 三国地区) 131 千円
  - 補助金
    - ・通学費補助金 (三国地区) 6,485 千円

スクールバス利用状況

	委託バス	路線バス	計
平成23年度	946人	594人	1,540人
平成22年度	939人	659人	1,598人

【事業の成果と改善点等】  
スクールバスの運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学の解消と安心安全な通学が確保できた。

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 01 学校管理費	決 算 書
大事業	004	中学校生徒健康管理事業		P. 203
中事業	01	中学校生徒健康管理事業		教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	9,864 千円	決 算 額	不 用 額	
前年度	9,932 千円	9,767 千円	97 千円	
主な 特定 財源	諸収入 日本スポーツ振興センター負担金	9,730 千円	202 千円	
			1,364 千円	
			千円	
			千円	

【事業の目的】  
 中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。  
 ○内科及び産科（全学年）、眼科（1年）、耳鼻科（2年）

○尿（全学年）、心電図（1年）

- ◆中学校生徒健康管理事業 本庁 9,767 千円
- 報償費（校医手当） 5,265 千円
- 役務費（検査機器点検手数料） 6 千円
- 委託料（健康診断委託料） 1,537 千円
- 負担金（日本スポーツ振興センター負担金） 2,959 千円

日本スポーツ振興センター共済

	加入者数	給付件数
平成23年度	3,137人	526件
平成22年度	3,107人	556件

【事業の成果と改善点等】

健康診断を実施することにより、生徒の適正な健康管理、健康増進を図った。  
 平成24年度からは眼科・耳鼻科の専門医健診を見直し、学校医が内科健診と併せて行う。

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大事業	001	中学校教育振興事業		P. 203
中事業	01	中学校教育振興事業		教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	28,611 千円	決 算 額	不 用 額	
前年度	36,116 千円	27,385 千円	1,226 千円	
主な 特定 財源	県支出金 コア・ティーチャ―養成事業補助金	34,606 千円	1,510 千円	
			140 千円	
			千円	
			千円	

【事業の目的】

生徒に生き力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実を図る。

【事業の概要】

- ◆中学校教育振興事業 本庁 27,245 千円
- 賃金 11,212 千円
- 報償費 630 千円
- 需用費 16 千円
- 役務費 178 千円
- 委託料 1,940 千円
- 使用料及び賃借料 11,222 千円
- 学校図書司書 5名 27,245 千円
- 卒業記念品（印鑑）
- 消耗品費（教材用消耗品）
- 手数料（デジタル化対応）
- 業務システム保守点検
- 電算機器借上料
- ドメイン及びフィッシング使用料 717 千円
- 音楽会及び特別支援学級合同研修会バス借上げ 611 千円
- ハートピア春江使用料（坂井中学校卒業式） 26 千円
- 丸岡南中学校剣道防具 614 千円
- 県特別支援学級設置校長会負担金 14 千円
- 坂井地区特別支援学級合同学習会負担金 65 千円
- 備品購入費
- 負担金

◆コア・ティーチャ―養成事業 140 千円

対象校（三国中学校）

○備品購入費 教材用備品 140 千円

【事業の成果と改善点等】

各学校に学校図書司書を配置し、学校図書館図書充実を図った。教育用・校務用パソコン及びデジタルテレビなど教育環境の構築により、生徒の学力向上及びわかりやすい授業の展開に取り組んだ。また、コア・ティーチャ―養成事業に取り組み、読解力や活用能力を向上させるための授業づくり等教員育成のための指導・支援を行い、学校・教員の教育力を向上を図ることができた。

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費
大 事 業	001 中学校教育振興事業		決 算 書 P. 203
中 事 業	02 三国中学校教育振興事業		所 管 部 局 教育委員会事務局 学校教育課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	2,609 千円	2,521 千円	88 千円
主 な 特 定 財 源	2,864 千円	2,704 千円	160 千円 千円 千円

【事業の目的】  
生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】  
◆中学校教育振興事業 三国 2,521 千円  
三国中にて対応する教育振興事業  
○ 需用費 978 千円  
消耗品費 (教材用) 252 千円  
印刷製本費 (卒業証書・保健調査票等の印刷) 132 千円  
修繕料 (教材備品の修繕) 33 千円  
職場体験傷害保険料 (2年) 551 千円  
教材用備品 575 千円  
図書購入費

【事業の成果と改善点等】  
パソコンやデジタルテレビなども活用しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、生徒自ら学び、自ら考える力の育成等教育振興の充実が図られた。学校図書館図書標準図書冊数の不足校については、計画的に図書の整備、充実を図っていく必要がある。

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費
大 事 業	001 中学校教育振興事業		決 算 書 P. 203
中 事 業	03 丸岡中学校教育振興事業		所 管 部 局 教育委員会事務局 学校教育課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	4,705 千円	4,550 千円	155 千円
主 な 特 定 財 源	4,905 千円	4,729 千円	176 千円 千円 千円

【事業の目的】  
生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】  
◆中学校教育振興事業 丸岡 4,550 千円  
丸岡中・丸岡南中にて対応する教育振興事業  
○ 報償費 47 千円  
○ 需用費 1,769 千円  
消耗品費 (教材用) 418 千円  
印刷製本費 (卒業証書・保健調査票等の印刷) 133 千円  
修繕料 (教材備品の修繕) 51 千円  
職場体験傷害保険料 (2年) 1,094 千円  
教材用備品 1,038 千円  
図書購入費

【事業の成果と改善点等】  
パソコンやデジタルテレビなども活用しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、生徒自ら学び、自ら考える力の育成等教育振興の充実が図られた。学校図書館図書標準図書冊数の不足校については、計画的に図書の整備、充実を図っていく必要がある。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費		
大事業	001	中学校教育振興事業			決算書 P. 203						
中事業	04	春江中学校教育振興事業			所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課						
予		算		額		決		算		額	
		2,946		千円		2,856		千円		90	
前年度		3,102		千円		3,006		千円		96	
主	体	千円									
特	定	千円									
財	源	千円									

【事業の目的】  
生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

- 【事業の概要】
- ◆ 中学校教育振興事業 春江 2,856 千円
  - 春江中にて対応する教育振興事業
  - 報償費 講師謝礼 20 千円
  - 需用費 消耗品費(教材用) 1,111 千円
  - 印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷) 248 千円
  - 修繕料(教材備品の修繕) 109 千円
  - 役務費 職場体験傷害保険料(2年) 45 千円
  - 備品購入費 教材用備品 648 千円
  - 図書購入費 図書購入費 675 千円

【事業の成果と改善点等】  
パソコンやデジタルテレビなども活用しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、生徒自ら学び、自ら考える力の育成等教育振興の充実が図られた。学校図書館図書標準図書冊数の不足校については、計画的に図書の整備、充実を図っていく必要がある。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費		
大事業	001	中学校教育振興事業			決算書 P. 205						
中事業	05	坂井中学校教育振興事業			所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課						
予		算		額		決		算		額	
		2,054		千円		2,009		千円		45	
前年度		1,969		千円		1,951		千円		18	
主	体	千円									
特	定	千円									
財	源	千円									

【事業の目的】  
生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

- 【事業の概要】
- ◆ 中学校教育振興事業 坂井 2,009 千円
  - 坂井中にて対応する教育振興事業
  - 報償費 講師謝礼 8 千円
  - 需用費 消耗品費(教材用) 779 千円
  - 印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷) 169 千円
  - 修繕料(教材備品の修繕) 99 千円
  - 役務費 職場体験傷害保険料(2年) 25 千円
  - 備品購入費 教材用備品 497 千円
  - 図書購入費 図書購入費 432 千円

【事業の成果と改善点等】  
パソコンやデジタルテレビなども活用しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、生徒自ら学び、自ら考える力の育成等教育振興の充実が図られた。学校図書館図書標準図書冊数の不足校については、計画的に図書の整備、充実を図っていく必要がある。



予算款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費
大事業	002	生徒就学援助事業	決算書 P. 205
中事業	01	生徒就学援助事業	所管 部局 教育局
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
21,170 千円	18,325 千円	2,845 千円	
前年度	20,741 千円	18,834 千円	1,907 千円
主な 特定 財源	国庫支出金 特別支援教育就学奨励費補助金 被災児童生徒援助費補助金		299 千円 43 千円 千円

【事業の目的】  
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】

経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・医療費・通学費・学校生活に必要な経費の一部を援助する。

◆生徒就学援助事業 本庁 18,325 千円

○扶助費

・特別支援教育就学援助費(16人) 848 千円  
・要保護、準要保護生徒就学援助費(186人) 17,477 千円

【事業の成果と改善点等】

就学援助を必要とする生徒に対して、申請に基づき審査認定し、適正な扶助費交付を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減が図れた。

予算款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費
大事業	004	クラブ活動推進事業	決算書 P. 205
中事業	01	クラブ活動推進事業	所管 部局 教育局
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
20,644 千円	20,608 千円	36 千円	
前年度	20,939 千円	20,938 千円	1 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】  
中学校生徒が参加する部活動の実践の場を提供することにより、技術力・競技力の向上と選手の育成を図る。

【事業の概要】

◆クラブ活動推進事業 本庁 20,608 千円  
○報償費(激励費) 2,984 千円  
部活動において大会(北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等)に出場する生徒及び指導者に対する経費の一部を支給。  
・北信越中学校総合競技大会(富山県内)  
【出場種目】 バドミントン(女)・卓球(男女)・ソフトテニス(男女)  
剣道(男)・柔道(男女)・水泳(男女)・新体操  
卓球・ソフトテニス・柔道・水泳・陸上  
陸上(男女)・相撲

- ・北陸吹奏楽コンクール
- ・全国中学校体育大会(近畿ブロック)
- 【出場種目】卓球(男女)・柔道(男女)
- ・中部日本合唱コンクール大会(金沢市)
- ・中部日本吹奏楽コンクール大会(鳥羽市)

○委託料 (中学校クラブ活動競技力向上委託料) 17,624 千円

部活動の競技力を向上を図るため、強化練習会等競技力向上を目的とする事業を各中学校に委託。

【事業の成果と改善点等】

中学校の時期に、スポーツ活動や文化活動が活発に行われることにより、望ましい心身の発達、体力や技術力の向上と健康の保持増進を図ることができた。また、大会等は生徒の部活動における一つの目標となるものであり、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てることができた。

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費
大事業	007 通学支援事業		決 算 書 P. 205
中事業	01 通学支援事業		所管 部局 教育局 学校教育課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	23,160 千円	22,531 千円	629 千円
前年度	25,476 千円	25,090 千円	386 千円
主な 特定 財源	国庫支出金 ハズ地児童生徒援助費等補助金 スクールバス利用者協力金		1,777 千円 6,095 千円 千円

【事業の目的】  
市内の中学校に通学する生徒に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行するなど、遠距離通学の解消と、より安心安全な通学を確保することを目的とする。

【事業の概要】  
通学距離が概ね3.0km以上の地区の生徒に対して、委託スクールバスの運行や路線バス利用料金の補助を行う。

◆通学支援事業 本庁 22,531 千円  
○委託料  
・スクールバス運行  
三田地区4台  
丸岡地区2台  
春江地区3台  
坂井地区3台  
○補助金（通学費補助金 丸岡地区） 671 千円

スクールバス利用状況

	委託バス	PTA委託バス	計
平成23年度	599人	62人	661人
平成22年度	559人	57人	616人

【事業の成果と改善点等】  
スクールバスの運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学の解消と安心安全な通学が確保できた。

予 算 款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園総務費
大事業	004 幼稚園教育振興事業		決 算 書 P. 209
中事業	01 幼稚園教育振興事業		所管 部局 教育局 学校教育課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	20,823 千円	19,734 千円	1,089 千円
前年度	21,872 千円	18,851 千円	3,021 千円
主な 特定 財源	県支出金 子どもの伸びる力育成支援事業補助金 幼稚園預り保育料		1,556 千円 1,323 千円 千円

【事業の目的】  
幼児期は、人格形成の基礎を培う重要な時期であり、幼児教育は、子どものその後の生き方を大きく左右する重要な役割を担っている。幼児の健やかな成長のための環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

【事業の概要】  
◆幼稚園教育振興事業 本庁 19,734 千円  
市内12幼稚園の統括的な教育振興費  
○賃金（臨時職員14名分）  
○報償費（講師謝礼）  
○需用費（食糧費 預かり保育用おやつ代・教材費）  
○役員費（園外保育運搬料、幼稚園使用料等口座振替手数料）  
○使用料及び賃借料（車両借上料等）  
○補助金（通学支援事業費補助金）

16,980 千円  
1,349 千円  
412 千円  
64 千円  
559 千円  
370 千円

【事業の成果と改善点等】  
集団生活の中で基本的な生活習慣や態度、豊かな心情や思考力、意欲や思いやりなどを養い、就学前教育が図られた。

予算款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園総務費	決算書 P. 209
大事業	004	幼稚園教育振興事業		教育委員会事務局 学校教育課
中事業	02	三国幼稚園教育振興事業		
	予算額	決算額	不用額	
	663 千円	643 千円	20 千円	
前年度	685 千円	618 千円	67 千円	
主な 特定 財源			千円 千円 千円	
【事業の目的】 幼児期は、人格形成の基礎を培う重要な時期であり、幼児教育は、子どものその後の生き方を大きく左右する重要な役割を担っている。幼児の健やかな成長のための環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。				
【事業の概要】 ◆三国幼稚園教育振興事業 三国 643 千円 三国地区5幼稚園における教育振興費				
○需用費 ・消耗品費（教材用消耗品） 602 千円 ・印刷製本費（教育用印刷） 41 千円				
【事業の成果と改善点等】 集団生活の中で基本的な生活習慣や態度、豊かな心情や思考力、意欲や思いやりなどを養い、就学前教育が図られた。				

予算款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園総務費	決算書 P. 209
大事業	004	幼稚園教育振興事業		教育委員会事務局 学校教育課
中事業	03	春江幼稚園教育振興事業		
	予算額	決算額	不用額	
	667 千円	602 千円	65 千円	
前年度	657 千円	606 千円	51 千円	
主な 特定 財源			千円 千円 千円	
【事業の目的】 幼児期は、人格形成の基礎を培う重要な時期であり、幼児教育は、子どものその後の生き方を大きく左右する重要な役割を担っている。幼児の健やかな成長のための環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。				
【事業の概要】 ◆春江幼稚園教育振興事業 春江 602 千円 春江地区4幼稚園における教育振興費				
○需用費 ・消耗品費（教材用消耗品） 561 千円 ・印刷製本費（教育用印刷） 41 千円				
【事業の成果と改善点等】 集団生活の中で基本的な生活習慣や態度、豊かな心情や思考力、意欲や思いやりなどを養い、就学前教育が図られた。				

予算	款	10 教育費	項	04 幼稚園費	目	01 幼稚園総務費
大事業	004	幼稚園教育振興事業				決算書 P. 209
中事業	04	坂井幼稚園教育振興事業				所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
	予	算	額	決	算	額
		235 千円		202 千円		33 千円
前年度		254 千円		240 千円		14 千円
主な 特定 財源						千円 千円 千円

【事業の目的】  
 幼児期は、人格形成の基礎を培う重要な時期であり、幼児教育は、子どもその後の生き方を大きく左右する重要な役割を担っている。幼児の健やかな成長のための環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

【事業の概要】  
 ◆坂井幼稚園教育振興事業 坂井 202 千円  
 坂井地区2幼稚園における教育振興費

- 需用費
  - ・消耗品費（教材用消耗品） 197 千円
  - ・印刷製本費（教育用印刷） 5 千円

【事業の成果と改善点等】  
 集団生活の中で基本的な生活習慣や態度、豊かな心情や思考力、意欲や思いやりなどを養い、就学前教育が図られた。

予算	款	10 教育費	項	04 幼稚園費	目	01 幼稚園総務費
大事業	005	幼稚園園児健康管理事業				決算書 P. 209
中事業	01	幼稚園園児健康管理事業				所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
	予	算	額	決	算	額
		569 千円		558 千円		11 千円
前年度		630 千円		576 千円		54 千円
主な 特定 財源		諸収入 日本スポーツ振興センター負担金				108 千円 千円 千円

【事業の目的】  
 幼稚園における園児の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】  
 学校保健安全法に基づき、園児の健康管理のため各種健康診断を行う。  
 ○内科、歯科、眼科、耳鼻科  
 ○寄生虫、さやう虫、尿検査

- ◆幼稚園園児健康管理事業 本庁 558 千円
  - 報償費（園医手当） 352 千円
  - 委託料（健康診断委託料） 105 千円
  - 負担金（日本スポーツ振興センター負担金） 101 千円

日本スポーツ振興センター共済

	加入者数	給付件数
平成23年度	529人	10件
平成22年度	558人	15件

【事業の成果と改善点等】  
 健康診断を実施することにより、園児の適正な健康管理、健康増進を図った。  
 平成24年度からは眼科・耳鼻科の専門医健診を見直し、園児が内科健診と併せて行う。

予 算 款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園給務費	決算書
大事業	006	幼稚園就園奨励事業		決算書 P. 209
中事業	01	幼稚園就園奨励事業		所管 部局 不 用 額 教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額		決 算 額	不 用 額	
1,429 千円		925 千円	504 千円	
前年度	932 千円	882 千円	50 千円	
主な 特定 財源	国庫支出金 就園援助費補助金		220 千円 千円 千円	
【事業の目的】 経済的理由により就学が困難な園児の保護者に対して必要な援助を行い、幼児教育の振興を図る。				
【事業の概要】 経済的理由により就学が困難な園児の保護者に対して入園料および保育料の減免額を給付する。				
◆幼稚園就園奨励事業 本庁 925 千円				
○補助金（私立幼稚園就園奨励費補助金 17人） 776 千円				
○扶助費（公立幼稚園就園奨励費 8人） 149 千円				
【事業の成果と改善点等】 所得状況に応じた補助金・扶助費交付を行うことにより、幼稚園入園の保護者の経済的負担の軽減が図れた。				

予 算 款	10 教育費	項 06 保険体育費	目 04 学校給食費	決算書									
大事業	002	学校給食管理事業		決算書 P. 237									
中事業	01	学校給食管理事業		所管 部局 不 用 額 教育委員会事務局 学校教育課									
予 算 額		決 算 額	不 用 額										
56,780 千円		54,453 千円	2,327 千円										
前年度	53,442 千円	50,411 千円	3,031 千円										
主な 特定 財源	諸収入 幼稚園給食負担金		9,728 千円 千円 千円										
【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。													
【事業の概要】 ◆学校給食管理事業 本庁 54,453 千円													
○買金 42,431 千円													
・ 丸岡地区自校調理場調理師 6名													
・ 三国学校給食センター調理師 8名													
・ 春江坂井学校給食センター調理師 10名													
○報償費 学校給食従事職員研修会（8月3日開催）講師謝礼 20 千円													
○需用費 各給食調理場調理講習会 材料費 12 千円													
○委託料 春江坂井地区幼稚園給食業務委託料 11,990 千円 （春江・春江西・大石・春江東・東十郷・大関の6保育園提供分）													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>給食人員</th> <th>給食延数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>228人</td> <td>41,491食</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>224人</td> <td>40,802食</td> </tr> </tbody> </table>						給食人員	給食延数	平成23年度	228人	41,491食	平成22年度	224人	40,802食
	給食人員	給食延数											
平成23年度	228人	41,491食											
平成22年度	224人	40,802食											
【事業の成果と改善点等】 園児、児童、生徒に対し安全で安心な学校給食を提供した。 春江、坂井地区の幼稚園給食については、次年度より民間委託から春江坂井学校給食センター及び三国学校給食センターでの調理に移行する。													

予 算 款	10 教育費	項 06 保険体育費	目 04 学校給食費
大事業	002 学校給食管理事業	決 算 書 P. 237	
中事業	02 三国学校給食管理事業	所管 部局 教育局 学校教育課	
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
157,616 千円	156,810 千円	806 千円	
前年度	166,503 千円	166,031 千円	
主な 特定 財源	諸収入 諸収入 諸収入	小学校給食負担金 中学校給食負担金 幼稚園給食負担金他	
		67,060 千円 39,034 千円 5,681 千円	

【事業の目的】  
「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】  
中学校1校（三国）、小学校6校（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部）  
幼稚園5園（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西）、総計12施設の給食  
を提供する。

その他、保育所7箇所（南・中央・新保・みくに未来・宿・安島・加戸）について  
も福祉予算（保育園費）にて提供している。

◆三国学校給食管理事業 三国 156,810 千円

○需用費

- ・消耗品費、印刷製本費 3,477 千円
- ・燃料費、光熱水費 20,433 千円
- ・修繕料（施設等修繕、給食備品修繕他） 982 千円
- ・賄材料費（給食材料費） 113,337 千円
- 役務費（検査手数料・自動車保険料他） 737 千円
- 委託料（害虫駆除委託料他） 16,754 千円
- 使用料及び賃貸料（食器一式賃貸他） 121 千円
- 備品購入費（給食用備品購入費他） 955 千円
- 負担金（学校給食センター連絡協議会負担金） 6 千円
- 公課費（自動車重量税） 8 千円

	給食人員	給食延数
平成23年度	2,287人	436,084食
平成22年度	2,370人	447,756食

【事業の成果と改善点等】  
地元の産物を中心に安くて安全・安心な物品の購入を基本に、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供ができた。

予 算 款	10 教育費	項 06 保険体育費	目 04 学校給食費
大事業	002 学校給食管理事業	決 算 書 P. 239	
中事業	03 春江坂井学校給食管理事業	所管 部局 教育局 学校教育課	
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
223,589 千円	222,708 千円	881 千円	
前年度	233,596 千円	229,428 千円	
主な 特定 財源	諸収入 諸収入 諸収入	小学校給食負担金 中学校給食負担金 その他教育費雑入	
		119,961 千円 72,230 千円 47 千円	

【事業の目的】  
「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】  
中学校2校（春江・坂井）、小学校7校（春江・春江東・春江西・大石・東十  
郷・大関・兵庫）総計9校の給食を提供する。

◆春江坂井学校給食管理事業 春江 222,708 千円

○需用費

- ・消耗品費、印刷製本費 4,136 千円
- ・燃料費、光熱水費 16,247 千円
- ・修繕料（施設等修繕、給食備品修繕他） 2,281 千円
- ・賄材料費（給食材料費） 194,566 千円
- 役務費（検査手数料・自動車保険料他） 1,316 千円
- 委託料（害虫駆除委託料他） 730 千円
- 使用料及び賃貸料（食器一式賃貸他） 2,381 千円
- 備品購入費（給食用備品購入費他） 939 千円
- 負担金（学校給食センター連絡協議会負担金） 9 千円
- 公課費（自動車重量税） 103 千円

	給食人員	給食延数
平成23年度	3,944人	736,026食
平成22年度	3,957人	737,163食

【事業の成果と改善点等】  
地元の産物を中心に安くて安全・安心な物品の購入を基本に、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供ができた。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書
大事業	002	学校給食管理事業		P. 239
中事業	04	丸岡学校給食管理事業		所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
	252,012 千円	244,719 千円	7,293 千円	
前年度	251,517 千円	247,439 千円	4,078 千円	
主な	雑入(小学校給食負担金)		105,898 千円	
特定	雑入(中学校給食負担金)		64,151 千円	
財源	雑入(幼稚園給食負担金)他		6,149 千円	
	【事業の目的】			
	「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。			
	【事業の概要】			
	◆丸岡学校給食管理事業 本庁 3,107 千円			
	5校4園(平章小・長畝小・高橋小・磯部小・明章小・平章幼・長畝幼・高橋幼・磯部幼)の給食を提供する。			
	○旅費	調理師研修会参加時普通旅費		3 千円
	○需用費			
	・修繕料	高橋小学校給食室給湯ボイラ一修繕工事他14件		1,481 千円
	・賄材料費	コシヒカリ給食推進事業		214 千円
	○役務費	各種検査手数料		303 千円
	○委託料	調理場内害虫駆除委託料		651 千円
	○備品購入費	牛乳保冷庫他		455 千円
	◆丸岡学校給食管理事業 丸岡		241,612 千円	
	3校(丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小)の給食を提供する。			
	○需用費	丸岡地区小中学校賄材料費(給食材料費及び牛乳代)他		125,073 千円
	○委託料	学校給食調理業務等委託料		
	・Cネットふくい委託分(鳴鹿小学校、丸岡南中学校)			59,977 千円
	・有限会社ランチャサービス委託分(丸岡中学校)			56,562 千円
		給食人員	給食延数	
		平成23年度	3,654人	691,570食
		平成22年度	3,728人	707,268食

【事業の成果と改善点等】  
丸岡地区の園児、児童、生徒に対し安全で安心な学校給食を提供した。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書
大事業	005	春江坂井学校給食センター建設事業		P. 239
中事業	01	春江坂井学校給食センター建設事業		所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
	58,510 千円	44,671 千円	13,839 千円	
前年度	— 千円	— 千円	— 千円	
主な	合併特別事業債			
特定			41,600 千円	
財源			千円	
	【上記決算額内訳】			
	当該年度分	予 算 額	決 算 額	44,671 千円
	前年度繰越分	繰越分予算額	繰越分決算額	0 千円
	次年度への繰越額	12,600 千円		0 千円
	【事業の目的】			
	春江・坂井地区内の園児、児童、生徒に安全で安心な学校給食を提供するため、老朽化が著しい春江坂井学校給食センターを移転・改築し、国の衛生管理基準等に適合した施設とする。			
	【事業の概要】			
	◆春江坂井学校給食センター建設事業 本庁 44,671 千円			
	○報償費	プロポーザル審査委員謝礼		36 千円
	○委託料			
	・春江坂井学校給食センター建設用地地質調査業務委託			745 千円
	○公有財産購入費	春江坂井学校給食センター建設用地取得 (坂井市春江町丸岡地区)		43,890 千円

【事業の成果と改善点等】  
春江坂井学校給食センター整備事業に関し、当初の予定どおり業務を遂行した。

予算	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育事務費
大事業	003 社会教育委員会運営事業		決算書 P. 211
中事業	01 社会教育委員会運営事業		所管 教育局 生涯学習スポーツ課
予 算 額		決 算 額	不 用 額
前年度	688 千円	569 千円	119 千円
主な 特定 財源	664 千円	620 千円	44 千円

【事業の目的】  
社会教育行政全般について、調査及び審議を通して啓申・建議を行うとともに、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の推進を図る。

- 【事業の概要】
- ◆ 社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営
    - 報酬 442千円
    - 旅費 49千円
    - 需用費 3千円
    - 使用料及び賃借料 4千円
    - 負担金 39千円
  - 社会教育委員15名
  - 東海北陸社会教育研究大会参加 6千円
  - 食糧費（委員会内） 11千円
  - 高速代 15千円
  - 県社会教育委員連絡協議会負担金
  - 東海北陸社会教育研究大会負担金
  - 県社会教育研究集会参加負担金
  - 県社会教育連絡協議会費

【事業の成果と改善点等】  
社会教育委員会の会を2回開催する他、各種研修会等に参加した。また坂井市合宿通学事業の実地見学や子ども壁新聞コンクールの審査、青少年健全育成推進大会、心の教育講演会等へ参加した。

予算	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育事務費
大事業	002 社会教育諸事業		決算書 P. 211
中事業	01 社会教育諸事業		所管 教育局 生涯学習スポーツ課
予 算 額		決 算 額	不 用 額
前年度	180 千円	68 千円	112 千円
主な 特定 財源	335 千円	117 千円	218 千円

【事業の目的】  
「大学」という名にふさわしい、新しい知識と教養を身につける機会を、広く市民に提供し生活の中により高い文化を創造する。

- 【事業の概要】
- ◆ 社会教育諸事業 本庁 68千円
    - 需用費
      - 消耗品費 8千円
      - 印刷製本費（生涯学習報告書製本） 21千円
      - 修繕料（シュレッダーの修理代） 19千円
      - 県視覚覚教育連絡協議会負担金 20千円

- 坂井市成人大学
- 実施機関 平成23年5月～平成24年2月
  - 実施回数 全10回（講義8回・現地研修2回）
  - 受講生徒 91名
- 大学開放講座
- 実施機関 平成23年7月・11月・12月
  - 実施回数 全3回（坂井市成人大学との連携）

【事業の成果と改善点等】  
坂井市成人大学を開講し、大学開放講座についても共催することで3回開講し、坂井市全域から受講があった。成人大学主催者、参加者とも高齢化のため事業計画等を検討し、40～50代の参加を促進する必要がある。



予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育事務費
大事業	005 市民運動推進事業		決算書 P. 213
中事業	01 市民運動推進事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
780 千円	569 千円	211 千円	
前年度	918 千円	870 千円	48 千円
主な 特定 財源	明日の福井を創る運動推進事業補助金		145 千円 千円 千円

【事業の目的】  
市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。

【事業の概要】  
◆ 花壇づくりの推進・コンクールの実施  
○ 報償費 市民運動・花壇コンクール表彰記念品代 569千円  
○ 需用費 消耗品費 (事務用品代) 2千円  
(花壇用種代) 176千円  
食糧費 2千円  
通信運搬費 (郵便料) 3千円  
筆耕翻訳料 5千円  
あすの福井県を創る協会負担金 193千円  
美しい坂井地区を創る協会負担金 122千円

第6回坂井市花壇コンクール  
審査日 8月27日(土) 三国・丸岡地区  
8月28日(日) 春江・坂井地区  
場 所 市内の花壇  
参加数 53地区団体  
坂井地区ふるさとづくり推進大会  
期 日 12月17日(土)  
場 所 たかむく古本ホール  
内 容 坂井市市民運動実践者表彰  
実践発表  
記念映画上映

【事業の成果と改善点等】  
美しい坂井地区を創る協会と共催で「ふるさとづくり推進大会」を開催し、県の指定団体の活動発表など、情報交換の場を設けることで今後の活動推進の契機を提供した。年々花壇コンクールの参加が減少しているため、活動の周知を図る必要がある。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育総務費
大事業	009 社会教育団体補助金		決算書 P. 213
中事業	01 社会教育団体補助金		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
3,932 千円	3,142 千円	790 千円	
前年度	4,278 千円	4,055 千円	223 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】  
補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。

【事業の概要】  
○ 補助金 3,142 千円  
坂井市PTA連合会事業補助金 250千円  
青少年育成団体運営補助金 70千円  
・ポニーカウト第5回 70千円  
・ポニーカウト第6回 70千円  
・ガールスカウト第17回 70千円  
・ガールスカウト第20回 70千円  
・三国海洋少年団 70千円  
坂井市かるた協会事業補助金 350千円  
坂井市女性の会生活改善グループ運営補助金 173千円  
坂井市女性の会運営補助金 1,919千円  
坂井市壮年会連絡協議会運営補助金 100千円

【事業の成果と改善点等】  
社会教育団体の育成と支援に努め、地域社会の活力向上や市民の学習活動に対する意欲の向上、社会教育活動を通じた市民の交流、青少年の健全育成等を図った。なお、各団体には、会費収入等自己財源の確保と補助金依存割合の適正化を促した。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費	決 算 書
大事業 001	公民館維持管理事業			P. 213
中事業 01	公民館維持管理事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	決 算 額	不 用 額		
162,883 千円	158,651 千円	4,232 千円		
前年度	172,546 千円	166,009 千円	6,537 千円	
主な 県支出金	人権問題社会教育指導員設置費補助金	216 千円		
特定 諸収入	地区集会場土地借上料負担金	18 千円		
財源 諸収入	雇用保険料個人負担金	137 千円		

【事業の目的】  
地域住民に最も身近な学習の場であるとともに、地域住民の交流の場である公民館施設  
の、適正な維持管理と運営の充実を図る。

- 【事業の概要】
- 館長報酬（館長23名） 41,061千円
  - 職員手当 48千円
  - 共済費 5,841千円
  - 賃金（事務職員42名 社会教育指導委員4名 用務員・管理人3名） 94,032千円
  - 旅費 45千円
  - 需用費 2,937千円
  - 役務費 611千円
  - 委託料 337千円
  - 使用料及び賃借料 989千円
  - 工事請負費 158千円
  - 備品購入費 8,630千円
  - 負担金 840千円
- 各地区公民館の利用状況
- |        |         |          |          |         |
|--------|---------|----------|----------|---------|
|        | 三国地区    | 丸岡地区     | 香江地区     | 坂井地区    |
| 平成23年度 | 81,390人 | 150,690人 | 110,275人 | 44,715人 |
| 平成22年度 | 73,945人 | 146,445人 | 111,392人 | 50,060人 |

【事業の成果と改善点等】  
施設の適正な維持管理と運営に取り組む、多様化する地域住民の学習ニーズへの対応を  
行った。施設の経年劣化が進む中で、予算の範囲内において必要な工事・修繕を実施し  
た。今後は地域住民が自ら学習意欲を向上させるよう、環境整備をすすめる必要がある。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費	決 算 書
大事業 001	公民館維持管理事業			P. 213
中事業 02	三国公民館維持管理事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	決 算 額	不 用 額		
24,019 千円	22,641 千円	1,378 千円		
前年度	24,179 千円	23,097 千円	1,082 千円	
主な 使用料	公民館使用料	2,008 千円		
特定 諸収入	その他雑入	411 千円		
財源				

【事業の目的】  
地域住民に最も身近な学習の場であるとともに、地域住民の交流の場である公民館施設  
の、適正な維持管理と運営の充実を図る。

- 【事業の概要】
- 普通旅費 187千円
  - 需用費 859千円
  - 役務費 259千円
  - 委託料 9,374千円
  - 使用料及び賃借料 350千円
  - 旅費 775千円
  - 需用費 549千円
  - 役務費 15千円
  - 委託料 3,573千円
  - 使用料及び賃借料 2,853千円
  - 旅費 525千円
  - 需用費 290千円
  - 役務費 368千円
  - 委託料 2,426千円
- 使用料及び賃借料
- 事務機器借上料 88千円
  - コピー機リース料 125千円
  - 電話機賃借料 25千円

【事業の成果と改善点等】  
施設の適正な維持管理と運営に取り組む、多様化する地域住民の学習ニーズへの対応を  
行った。今後は、地域とのつながりや地域に根ざした公民館活動の推進として、地域住民  
が自ら学習意欲を向上させるよう、環境整備をすすめる必要がある。

予算款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費
大事業	001	公民館維持管理事業	決算書 P. 215
中事業	03	丸岡公民館維持管理事業	所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
	予算額	決算額	不 用 額
前年度	30,077 千円	26,515 千円	3,562 千円
主な 使用料	29,725 千円	27,349 千円	2,376 千円
特定 諸収入	公民館使用料		2,793 千円
財源	その他雑入		591 千円
			千円
【事業の目的】 地域住民に最も身近な学習の場であるとともに、地域住民の交流の場である公民館施設 の、適正な維持管理と運営の充実を図る。			
【事業の概要】			
○普通旅費	95千円		
○需用費	1,160千円	消耗品費	
	1,531千円	燃料費	
	10,923千円	光熱水費	
	234千円	修繕料	
	644千円	通信運搬費	
	904千円	手数料	
	6,163千円	施設管理委託料	
	2,470千円	施設清掃委託料	
	265千円	防火対象物点検	
	76千円	電気工作物保守点検	
	321千円	コピー機保守点検	
	1,242千円	空調設備保守点検他	
		○使用料及び賃借料	
	123千円	事務機器借上料	
	105千円	コピーリース料	
	139千円	清掃用具使用料	
	120千円		
		○備品購入費	
【事業の成果と改善点等】 施設の適正な維持管理と運営に取り組み、多様化する地域住民の学習ニーズへの対応を 行った。今後は、地域とのつながりや地域に根ざした公民館活動の推進として、地域住民 が自ら学習意欲を向上させるよう、環境整備をすすめる必要がある。			

予算款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費
大事業	001	公民館維持管理事業	決算書 P. 215
中事業	04	春江公民館維持管理事業	所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
	予算額	決算額	不 用 額
前年度	18,292 千円	17,878 千円	414 千円
主な 使用料	18,300 千円	17,719 千円	581 千円
特定 諸収入	公民館使用料		1,694 千円
財源	その他雑入		341 千円
			千円
【事業の目的】 地域住民に最も身近な学習の場であるとともに、地域住民の交流の場である公民館施設 の、適正な維持管理と運営の充実を図る。			
【事業の概要】			
○普通旅費	6千円		
○需用費	574千円	消耗品費	
	838千円	燃料費	
	8,131千円	光熱水費	
	449千円	修繕料	
	246千円	通信運搬費	
	925千円	手数料	
	86千円	自動車保険料	
	3,315千円	施設管理委託料	
	1,528千円	施設清掃委託料	
	289千円	防火対象物点検	
	111千円	電気工作物保守点検	
	168千円	コピー機保守点検	
	951千円	空調設備保守点検他	
		○使用料及び賃借料	
	157千円	事務機器借上料	
	89千円	備品購入費	
	15千円	自動車重量税	
【事業の成果と改善点等】 施設の適正な維持管理と運営に取り組み、多様化する地域住民の学習ニーズへの対応を 行った。今後は、地域とのつながりや地域に根ざした公民館活動の推進として、地域住民 が自ら学習意欲を向上させるよう、環境整備をすすめる必要がある。			

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費	決算書	
大	事	業	001	公民館維持管理事業						P. 217	
中	事	業	05	坂井公民館維持管理事業						所管 部局 生涯学習スポーツ課	
予		算		額		決		算		額	
前		年		度		10,290		千円		474	
主		な		財		源		額		額	
使用料		諸		取		入		公民館使用料		834	
特定		財		源		額		額		額	
10,967		千円		10,133		千円		1,080		千円	
										151	
										千円	

【事業の目的】  
地域住民に最も身近な学習の場であるとともに、地域住民の交流の場である公民館施設  
の、適正な維持管理と運営の充実を図る。

- 【事業の概要】
- 普通旅費 75千円
  - 需用費 490千円
  - 消耗品費 173千円
  - 燃料費 3,891千円
  - 光熱水費 149千円
  - 修繕料 294千円
  - 通信運搬費 558千円
  - 手数料 2,711千円
  - 施設管理委託料 764千円
  - 施設清掃委託料 47千円
  - 防火対象物点検 216千円
  - 電気工作物保守点検 252千円
  - コピー機保守点検
  - 使用料及び賃借料
  - 事務機器借上料 51千円
  - コピー機リース料 38千円
  - 清掃使用料 39千円
  - 設備改修工事 68千円
  - I事請負費

【事業の成果と改善点等】  
施設の適正な維持管理と運営に取組み、多様化する地域住民の学習ニーズへの対応を  
行った。今後は、地域とのつながりや地域に根ざした公民館活動の推進として、地域住民  
が自ら学習意欲を向上させるよう、環境整備をすすめる必要がある。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費	決算書	
大	事	業	002	公民館連絡活動事業						P. 217	
中	事	業	01	公民館連絡活動事業						所管 部局 生涯学習スポーツ課	
予		算		額		決		算		額	
前		年		度		45		千円		5	
主		な		財		源		額		額	
50		千円		30		千円		20		千円	
										千円	
										千円	
										千円	

【事業の目的】  
地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換のできる生涯学習の場を作  
り、地域の活性化につなげる。

- 【事業の概要】
- 報償費 公民館職員研修会講師謝礼 40千円
  - ・坂井市公民館連絡会が主催とする主事研修会
  - 日 時 平成23年11月25日(金) 9時30分～
  - 会 場 春江西公民館
  - 内 容 「いま、公民館に求められていること」  
～地域から信頼され期待される公民館職員とは～
  - 講 師 片野 親義氏
  - 参加主事人数 42名のうち35名の参加

【事業の成果と改善点等】  
坂井市公民館連絡会により、著名な講師を招き主事研修を実施した。公民館のあり方が  
変化する地域にどう関わることができるかを研修を通して学ぶ機会を設けた。全員参加が望ましいが、  
現状では難しい面もあり検討が必要である。

予算	款 10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費	決算書 P. 217
大事業	002 公民館連絡活動事業			
中事業	02 三国公民館活動事業			
予算額		決算額		不 用 額
1,629 千円		1,500 千円		129 千円
前年度	1,650 千円	1,474 千円		176 千円
主な特定財源	諸収入 公民館受講料 530 千円			

【事業の目的】  
地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換のできる生涯学習の場をつくり、地域の活性化につなげる。

【事業の概要】

公民館	定期講座		短期講座		自主サークル・教室	
	講座数	延人数	講座数	延人数	団体数	延人数
三国公民館	1	70	5	189	68	20,534
雄島公民館	1	119	11	287	28	5,796
加戸公民館	1	134	9	87	13	2,173
新保公民館	1	221	6	185	9	1,764
浜四郷公民館	1	143	6	63	10	2,123
三国木部公民館	2	192	5	124	12	1,808
三国東部公民館	1	92	6	139	5	1,470

- 報償費 講師謝礼 970千円
- 需用費 消耗品費 351千円  
食糧費 132千円
- 役務費 通信運搬費 11千円
- 使用材料及び賃借料(イベント機器借上料) 36千円

【事業の成果と改善点等】

趣味・教養的な講座や地域の特性を生かした教室・事業を開催し、多くの市民が参加し生涯学習の推進を図った。また、まち協の活動が活発化している中で、地域コミュニティの形成を図りながら地域住民の自主的な活動を支援し、地域の活性化を図った。

予算	款 10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費	決算書 P. 217
大事業	002 公民館連絡活動事業			
中事業	03 丸岡公民館活動事業			
予算額		決算額		不 用 額
3,934 千円		3,424 千円		510 千円
前年度	4,298 千円	3,401 千円		897 千円
主な特定財源	諸収入 公民館受講料 1,374 千円			

【事業の目的】  
地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換のできる生涯学習の場をつくり、地域の活性化につなげる。

【事業の概要】

公民館	定期講座		短期講座		自主サークル・教室	
	講座数	延人数	講座数	延人数	団体数	延人数
鳴鹿公民館	3	434	7	152	6	946
鳴鹿第二公民館	3	619	10	593	13	2,673
磯部公民館	3	55	-	-	27	6,429
高橋公民館	2	480	13	481	26	18,013
高橋東部公民館	2	206	5	92	19	6,626
高橋西部公民館	4	406	2	42	7	1,689
丸岡公民館	1	220	3	115	34	9,443
長畝公民館	3	332	3	65	20	6,501
長畝第二公民館	1	210	-	-	2	188
竹田公民館	1	300	2	26	2	564

- 報償費 講師謝礼 1,855千円
- 需用費 消耗品費 742千円  
燃料費 3千円  
食糧費 278千円
- 役務費 印刷製本費 76千円  
通信運搬費 158千円  
手数料 50千円  
傷害保険料 5千円
- 委託料 イベント事業委託 120千円
- 使用材料及び賃借料(車両借上他) 137千円

【事業の成果と改善点等】  
趣味・教養的な講座や地域の特性を生かした教室・事業を開催し、多くの市民が参加し生涯学習の推進を図った。また、まち協の活動が活発化している中で、地域コミュニティの形成を図りながら地域住民の自主的な活動を支援し、地域の活性化を図った。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費		
大事業	002	公民館連絡活動事業			決算書 P. 219						
中事業	04	春江公民館活動事業			所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課						
予		算		額		決		算		額	
前年度		1,367		千円		1,302		千円		65	
主な		1,512		千円		1,338		千円		174	
特定		公民館受講料		千円				千円		288	
財源		千円		千円				千円		千円	

【事業の目的】  
地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換のできる生涯学習の場をつくり、地域の活性化につなげる。

【事業の概要】

公民館	定期講座		短期講座		自主サークル・教室	
	講座数	延人数	講座数	延人数	団体数	延人数
春江南公民館	1	54	3	44	33	15,533
春江中公民館	1	84	4	140	29	6,757
春江東公民館	2	307	10	1,493	10	1,493
春江西公民館	1	105	10	668	30	23,039
大石公民館	2	82	1	32	11	2,199

- 報償費 講師謝礼 510千円
- 需用費 消耗品費 363千円
- 燃料費 5千円
- 食糧費 104千円
- 印刷製本費 6千円
- 通信運搬費 75千円
- 手数料 35千円
- 委託料 イベント事業委託 100千円
- 使用料及び賃借料 (イベント機器借上料) 104千円

【事業の成果と改善点等】  
趣味・教養的な講座や地域の特性を生かした教室・事業を開催し、多くの市民が参加し生涯学習の推進を図った。また、まち協の活動が活発化している中で、地域コミュニティの形成を図りながら地域住民の自主的な活動を支援し、地域の活性化を図った。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費		
大事業	002	公民館連絡活動事業			決算書 P. 219						
中事業	05	坂井公民館活動事業			所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課						
予		算		額		決		算		額	
前年度		1,043		千円		892		千円		151	
主な		1,023		千円		813		千円		210	
特定		公民館受講料		千円				千円		452	
財源		千円		千円				千円		千円	

【事業の目的】  
地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換のできる生涯学習の場をつくり、地域の活性化につなげる。

【事業の概要】

公民館	定期講座		短期講座		自主サークル・教室	
	講座数	延人数	講座数	延人数	団体数	延人数
東十郷公民館	1	177	1	24	37	8,976
大関公民館	1	255	1	5	23	5,160
兵庫公民館	1	147	1	15	16	6,237
坂井木部公民館	1	168	1	16	15	3,377

- 報償費 講師謝礼 455千円
- 需用費 消耗品費 163千円
- 食糧費 238千円
- 通信運搬費 31千円
- 役務費 傷害保険料 5千円

【事業の成果と改善点等】  
趣味・教養的な講座や地域の特性を生かした教室・事業を開催し、多くの市民が参加し生涯学習の推進を図った。また、まち協の活動が活発化している中で、地域コミュニティの形成を図りながら地域住民の自主的な活動を支援し、地域の活性化を図った。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費
大 事 業	003 丸岡女性の家維持管理事業	決 算 書 P. 219	
中 事 業	01 丸岡女性の家維持管理事業	所 管 部 局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
146 千円	103 千円	43 千円	
前年度	147 千円	89 千円	
主な 特定 財源		千円 千円 千円	

【事業の目的】  
健全な家庭づくり・地域づくりのため生産技術を習得することにより、地域社会の向上に努める。

- 【事業の概要】
- 需用品費 16千円
  - 需用品費 56千円
  - 通信運搬費 31千円
- 丸岡女性の家利用生活改善グループ活動状況  
 ・料理、農産加工部会 笹すし・そば打ち・食生活改善推進委員による料理紹介他  
 ・家庭管理・健康部会 こきぶり団子作り・廃油石鹸・気功講習他  
 ・農業、花木部会 ポカシ作り・花の種植え・プランターの土作り他  
 ・作業種リフォーム部会 ファスナー巾着作成・エコクラフトかご作り他  
 ・自主活動 味噌作り・ソフトハローボール大会

【事業の成果と改善点等】  
丸岡女性の家利用生活改善グループ（会員133名）の活動拠点として利用され、みそ作りを中心に年間を通じて活動をしているが、使用者は特定団体に限られている。建物の老朽化に伴い、平成24年度をもって閉鎖される。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費
大 事 業	005 公民館施設整備事業	決 算 書 P. 219	
中 事 業	01 公民館施設整備事業	所 管 部 局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
527,305 千円	526,907 千円	398 千円	
前年度	74,406 千円	447 千円	
主な 特定 財源	国庫支出金 市街地整備総合交付金 地方債 合併特例事業債	159,760 千円 333,500 千円 千円 千円	

【事業の目的】  
地域住民に最も身近な学習の場であり、交流の場である公民館施設の整備を図る。

- 【事業の概要】
- ◆ 高松公民館整備事業
  - 報償費 記念品 5千円
  - 報償費 出演者謝礼 200千円
  - 報償費 消耗品費 15千円
  - 報償費 食糧費 25千円
  - 報償費 印刷製本費 65千円
  - 報償費 修繕料 99千円
  - 報償費 手数料 168千円
  - 委託料 管理委託料 11,078千円
  - 工學請負費 建物改修工事費 511,645千円
  - 工學請負費 空調機取付工事費 1,732千円
  - 工學請負費 施設改修工事費 1,785千円
  - 備品購入費 会議用テーブル 90千円

施設の概要  
 ・平成23年11月19日 竣工式  
 ・延床面積 4374.14㎡

【事業の成果と改善点等】  
平成22・23年度の継続事業であった当事業が完了し、1階に丸岡総合支所と公民館事務所、2階・3階に公民館施設、4階に交流ホールとして整備し、利用者数も昨年と比較して毎月5割以上増えている。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 02 公民館費	決 算 書
大事業	006 地域支え合い体制づくり事業			P. 219
中事業	01 地域支え合い体制づくり事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	1,000 千円	決 算 額	998 千円	不 用 額
前年度	— 千円		— 千円	
主な 特定 財源	県支出金 地域支え合い体制づくり事業補助金		998 千円	千円 千円 千円

【事業の目的】

和便器から洋便器に取り替える改修工事及び、高齢者向け低座椅子・血圧測定器を設置することで、地域の高齢者や障がい者が気軽に集える交流の場（居場所）づくりをする。

【事業の概要】

- 工事請負費 施設改修工事費（春江女性の家トイシ） 683千円
- 備品購入費 施設用備品購入費 315千円

春江女性の家は畳コーナーを設置し、高齢者の交流の場となっているが、洋式トイレがないことでトイシが利用しづらい施設であった。利用者の利便性を高めるため、和便器から洋便器に取替える工事を行った。

【事業の成果と改善点等】

春江女性の家のトイシを洋式に改修し、手すり等も設置して、高齢者・障がい者の利便を図った。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 04 国際交流推進費	決 算 書
大事業	002 国際交流派遣事業			P. 219
中事業	01 国際交流派遣事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	9,162 千円	決 算 額	8,605 千円	不 用 額
前年度	9,165 千円		8,967 千円	198 千円
主な 特定 財源	語収入 海外派遣参加者負担金			5,000 千円 千円 千円

【事業の目的】

国際理解教育の一環として、坂井市内の中学校の生徒を英国に派遣し、ホームステイや授業参加を通して外国の生活を体験することにより、国際化時代に対応できる生徒を育成する。

【事業の概要】

- 〈派遣期間〉 平成24年3月14日(水)～23日(金) 10日間
- 〈派遣先〉 英国ウエールズカーディフ市 /オックスフォードおよびロンドン
- 〈派遣人数〉 生徒 25人 (男子10人、女子15人) 引率者 5人 (坂井市内在住で坂井市内中学校の2年生に在学する生徒)

○報酬費

- 選考委員謝礼 3名 142 千円
- 交流先記念品 7名
- 講師謝礼 5名
- 引率者旅費 121千円

○旅費

- 食糧費 27千円
- 印刷製本費 17千円

○需用費

- 損害保険料 20 千円
- 国際交流事業手配業務 8,064 千円
- 携帯電話使用料 31 千円

【事業の成果と改善点等】

今年度から、団員の授業参加の機会を増やしていただいたが、内容全ては理解できないながらも外国の授業風景を見ることが出来た。



予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費	決 算 書 P. 221
大 事 業	001 子ども会育成事業			所 管 部 局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
中 事 業	01 子ども会育成事業			
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
前年度	2,138 千円	2,137 千円	1 千円	
主な 特定 財源	2,138 千円	2,107 千円	31 千円	千円 千円 千円

【事業の目的】  
 幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を行う。

【事業の概要】  
 ○負担金 153 千円  
 福井県子ども会育成連合会負担金 63千円  
 坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金 90千円  
 ○補助金 1,984 千円  
 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金

【事業の成果と改善点等】  
 青少年のリーダーとなる人材の育成を行うことを目的として、坂井市子ども会育成連絡協議会を事業主体として、子ども会活動の支援や組織の育成を図った。今後も継続して研修等を行い、子ども会活動の活性化を推進していく必要がある。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費	決 算 書 P. 221
大 事 業	003 成人式事業			所 管 部 局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
中 事 業	01 成人式事業			
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
前年度	1,455 千円	1,169 千円	286 千円	
主な 特定 財源	1,368 千円	1,214 千円	154 千円	千円 千円 千円

【事業の目的】  
 新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】  
 〈期 日〉 平成24年1月8日(日) 午後1時30分～  
 〈会 場〉 ハートピア春江  
 〈対象者〉 新成人1,034人  
 〈参加者〉 新成人845人(男性422人、女性423人 出席率81.7%)  
 ○報償費 799 千円  
 成人式記念DVD作成謝礼  
 成人式実行委員謝礼 14名  
 記念品作成(アルバム、DVD)

○需用費 140 千円  
 消耗品費 76千円  
 食糧費 45千円  
 印刷製本費 19千円  
 ○役務費 123 千円  
 通信運搬費 120千円  
 手数料 3千円  
 ○使用料及び賃借料 107 千円  
 会場使用料

【事業の成果と改善点等】  
 参加した新成人一人ひとりが成人したことを自覚し、「絆」の大切さをかみしめながら、これから社会の中で自ら「Action」を起こしているようきょうげとなった。

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	004 わんぱく少年団事業	決算書 P. 221			
中事業	01 わんぱく少年団事業	所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予 算 額	決 算 額	不 用 額			
前年度	332 千円	155 千円	177 千円		
主な 特定 財源	372 千円 わんぱく少年団参加者負担金	152 千円	220 千円 83 千円 千円 千円		

【事業の目的】  
自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶと同時に自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。

【事業の概要】  
〈名 称〉 「2011 SAKAIわんぱく少年団」  
〈対象者〉 坂井市内小学校5・6年生30人  
〈実施期間〉 学校週休日・夏休み（6月～2月）  
〈実施回数〉 10回

○報償費 26 千円  
○需用費 106 千円

○使用料及び賃借料 39千円  
講師謝礼 67千円  
消耗品費  
食糧費  
施設使用料 23 千円

【事業の成果と改善点等】  
自然の中で協力しながら行う活動が多いため、友達とも深く結びつくことができました。また、この活動をきっかけに他の活動においても積極的に取り組む姿が見られるようになりました。今後も、子どもたちが参加したくなるような魅力ある活動を実施していく。

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	005 青少年健全育成事業	決算書 P. 221			
中事業	01 青少年健全育成事業	所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予 算 額	決 算 額	不 用 額			
前年度	6,050 千円	5,537 千円	513 千円		
主な 特定 財源	5,256 千円 放課後子どもプラン事業補助金	5,008 千円	248 千円 2,274 千円 千円 千円		

【事業の目的】  
◆放課後子ども教室  
公民館等で、様々な放課後子ども教室を実施し、子どもたちに安全な居場所や学習・体験活動の機会を提供する。  
◆青少年育成坂井市民会議  
青少年問題のもつ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】  
◆放課後子ども教室  
主に公民館で、学習アドバイザーや安全管理員など地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせてながら、書道や絵画、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、コーラス教室などと定期的に教室を開催したりするなど、子ども達の安全な居場所の確保に努めた。

◆青少年育成坂井市民会議  
【主な事業】

5月23日(月)	青少年育成坂井市民会議総会	ハートピア春江
7月2日(土)	非行防止一斉キャンペーン	PLANT2坂井店
7月27日(水)	心の教育講演会「父子笑伝・笑育」	ハートピア春江
11月26日(土)	坂井市青少年健全育成推進大会	みくに文化未来館
12月20日(火)	青少年愛護センターへ白いポスト贈呈	春江東公民館
1月12日(木)	市内子育て支援センターへ絵本贈呈	坂井子育て支援センター

○委託料 放課後子ども教室実施委託料 3,411 千円  
○補助金 青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126 千円

【事業の成果と改善点等】  
◆放課後子ども教室  
地域のボランティアの協力を得て、安全・安心な子どもの活動拠点を設けることができた。  
◆青少年育成坂井市民会議  
青少年が健全に成長していくための環境づくり、青少年の心を育てることに貢献することができた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費
大事業	007 合宿通学事業	決 算 書 P. 221	
中事業	01 合宿通学事業	所管 部局	
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	2,224 千円	1,780 千円	444 千円
主な 特定 財源	1,527 千円	1,508 千円	19 千円

【事業の目的】

公民館等の公共施設に宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分で行いながら通学することにより、日常生活における家族の苦労や、愛情の深さに気づき、感謝する気持ちを育てる。

【事業の概要】

期 間	場 所	対 象 者	参 加 人 数
7月6日(水)～9日(土)	東十郷公民館	東十郷小学校4年生	57名
9月28日(水)～10/1日(土)	丸岡公民館	平章小学校4年生	69名
10月5日(水)～8日(土)	鳴鹿公民館	鳴鹿小学校4年生	29名
10月19日(水)～22日(土)	香江中公民館	香江東小学校5年生	54名
10月25日(火)～29日(土)	三國公民館	加戸小学校6年生	42名
	芦原青年の家		
	合 計		251名

○委託料

合宿通学事業業務委託料

1,780 千円

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費
大事業	008 坂井・延岡シユニア交流事業	決 算 書 P. 221	
中事業	01 坂井・延岡シユニア交流事業	所管 部局	
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	1,400 千円	928 千円	472 千円
主な 特定 財源	— 千円	— 千円	— 千円
	諸収入	参加者負担金	400 千円

【事業の目的】

宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名勝旧跡を学習することを通じて人的交流を図っていく中で、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】

1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流する。第2回目となる今年度は「坂井・延岡シユニア交流隊」を結成して延岡市を訪問し、延岡市の小学生と一緒に「延岡を体験」した。

〈期 間〉平成23年7月29日(金)～31日(日)

〈派遣先〉宮崎県延岡市

〈参加者〉坂井市内小学5、6年生 14名

市P連3名、保護者1名、事務局2名

○報償費

交流先土産・プレゼント代

19 千円

○需用費

消耗品費

38 千円

○委託料

交流事業手配業務

871 千円

【事業の成果と改善点等】

長期間宿泊での日常生活体験は、学校教育ではなかなか得られない大変貴重な体験であり、実施目的に沿った効果が得られた。

【事業の成果と改善点等】

両市とも昨年度の隊員が今回も参加したり、参加できなくても途中会いに来てくれたりと、子どもたちの中では確かに交流が続いている様子を感じることができた。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費	費
大事業	010	心の家庭教育支援事業	決算書 P. 223	所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課					
中事業	01	心の家庭教育支援事業								
予算額		1,339千円	決算額	828千円	不用額	511千円				
前年度		597千円		588千円		9千円				
主な 特定 財源						千円 千円 千円				
【事業の目的】 家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。										
【事業の概要】 ○子育て講座 小学校を中心に多くの親が集まる機会を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。 ・開催回数 7回(前年度 9回) ・参加人数 384名(前年度 464名) ○家庭教育支援チーム 元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、小学生などの子どもを持つ親(家庭)の心の教育と支援を行った。 ・チーム員の数 20名(前年度17名) ○広報紙の発行 子育てに関する情報やアドバイスを掲載した広報紙「ほやほや」を隔月で発行した。 ・発行回数 6回(前年度 6回) 配布先 対象4校(前年度 対象4校)										
○報償費 子育て講座講師謝礼 25千円 家庭教育支援チーム手当 768千円 793千円 消耗品費 食糧費 35千円 24千円 11千円										
【事業の成果と改善点等】 家庭教育支援チーム員も増員し、昨年よりも活動が活発になった。訪問する学校も増えたので、来年度はこれまで訪問していた学校に希望をとり、継続して訪問していきたい。また、保護者からの相談については利用しやすい環境づくりや機会を設けていきたい。										

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大事業	001	愛護センター事業	決算書 P. 223	所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課				
中事業	01	愛護センター事業							
予算額		13,694千円	決算額	12,913千円	不用額	781千円			
前年度		12,979千円		12,696千円		283千円			
主な 特定 財源						401千円 千円 千円			
【事業の目的】 青少年の健全な育成を図るとともに、これを阻害する恐れのある行為を防止することによって、青少年の健全育成を図る。									
【事業の概要】 ○賞金 愛護センター職員賞金 6名 10,422千円 ○報償費 一般補導員手当 延べ1,500名 1,200千円 ○需用費 消耗品費 373千円 燃料費 404千円 食糧費 33千円 印刷製本費 1千円 修繕料 52千円 863千円 ○役務費 通信運搬費 23千円 手数料 21千円 自動車保険料 53千円 97千円 ○委託料 エンゼルロード警備保障委託 301千円 コピー機保守点検委託 ○使用料及び賃借料 会場使用料 18千円 コピー機リース料 全国青少年補導センター連絡協議会負担金 5千円 自動車重量税 7千円									
【事業の成果と改善点等】 今後も各地区懇談会や合同巡回街頭補導を実施し、さらに連携した補導体制の充実を図っていく。									

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費
大事業	002	体育指導委員運営事業	決算書 P. 233
中事業	01	体育指導委員運営事業	所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	2,237 千円	2,138 千円	99 千円
主な 特定 財源	2,362 千円	2,290 千円	72 千円 千円 千円
【事業の目的】 体育指導員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力などを行い、市のスポーツ振興を図る。			
【事業の概要】 地域のクラブの推進役として地域住民のクラブ・ゼミスを把握し必要な取組の組みを行った。また、市民が自主的なクラブ活動を生涯にわたり継続して行うことが出来るよう努力した。 ・マリソンの普及・指導 15回/年 ・出前ユース・クラブ講座の開催 14回/年 ・クラブ・クラブの開催 ヴォーテック、ユース・クラブ教室、ユース・クラブ大会 ・各種大会への協力 坂井市古城マラソン大会、坂井市民クラブ祭 ・会議等の開催 全大会15回、部会等26回、研修会2回			
○報酬 1,504千円 ○報償費 12千円 ○旅費 74千円 ○需用費 31千円 ○役員費 75千円 ○使用料及び賃借料 車両借上料・有料道路通行料 63千円 ○負担金 379千円 体育指導委員報酬 (@32千円×47人) 講師謝礼・視察謝礼 費用弁償・特別旅費 消耗品費 定期刊行物購読料・資料購入代・啓発用消耗品費 備書保険料 会議・研修会参加負担金・県体指協議会負担金 県体有指導委員協議会費			
【事業の成果と改善点等】 ニュースポーツ教室・大会の企画運営をはじめ、市古城マラソン・市民スポーツ祭への協力、マリソンの普及など、市民のスポーツによる健康づくりに貢献できた。			

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費
大事業	003	保健体育諸事業	決算書 P. 235
中事業	01	保健体育諸事業	所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	147 千円	24 千円	123 千円
主な 特定 財源	990 千円	716 千円	274 千円 千円 千円
【事業の目的】 スポーツ振興審議会においてスポーツ振興に関する事項について調査審議することでのスポーツ振興を図る。			
【事業の概要】 ○需用費 消耗品費 16千円 事務用品消耗品費 2千円 資料購入代 14千円 ○負担金 8千円 負担金 県公立武道館協議会負担金 5千円 体育施設協会負担金 3千円			
【事業の成果と改善点等】 平成22年度においてスポーツ振興基本計画も策定され、スポーツ振興審議会に審議をお願いする議題もなく開催していない。今後、スポーツ振興審議会の在り方を含め検討が必要である。			

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費	
大 事 業	003 保健体育諸事業		決 算 書	P. 235
中 事 業	02 スポーツ団体補助事業		所 管 部 局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	26,963 千円	決 算 額	不 用 額	0 千円
前年度	26,963 千円			0 千円
主 な 特 定 財 源				千円 千円 千円

【事業の目的】

坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。

【事業の概要】

- 補助金
  - ・坂井市体育協会補助金 22,963千円
  - ・坂井市スポーツ少年団補助金 4,000千円

26,963千円

【事業の成果と改善点等】

各スポーツ振興団体の活動計画に沿った事業を実施した。また、坂井市体育協会は、指定管理者として施設の管理運営を行うとともに、市民へのスポーツ普及を進め、自主事業として各種スポーツ教室等を開催し自助努力を行った。今後も効率的で効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 02 体育振興費	
大 事 業	004 スポーツ振興事業		決 算 書	P. 235
中 事 業	02 スポーツ大会運営事業		所 管 部 局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	6,032 千円	決 算 額	不 用 額	358 千円
前年度	6,909 千円			33 千円
主 な 特 定 財 源	大会参加料			48 千円 千円 千円

【事業の目的】

誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

- 坂井市古城マラソン大会 6月5日(日) ゲストカ- 大南博美、敬美
- 坂井市民杯マラソン 10月9日(日) 春江体育館

	H23	H22	H21
古城マラソン	3,524人	3,166人	3,525人
市民杯マラソン	3,043人	2,633人	2,949人

○需用費 (大会・行事用消耗品費)

- 食糧費(行事等贈) 112千円
- 傷害保険料 7千円
- 委託料
  - 坂井市民スポーツ大会 2,370千円
  - 坂井市古城マラソン大会 2,500千円
- 補助金
  - マラソン振興事業補助金 685千円
  - 坂井市古城カップサッカー大会補助金 400千円
  - SAKAIマラソン大会補助金 150千円
  - 坂井地区高等学校野球大会運営事業補助金 100千円
  - 広域スポーツ大会支援事業補助金 35千円

【事業の成果と改善点等】

各種大会を開催し、スポーツの振興を図ることができた。マラソン大会については、毎年多くの県内外の方の参加があり地域活性化に貢献している。市民スポーツ祭については、スポーツイベントとして市民にインパクトを与え印象づけることにより、スポーツをはじめの動機づけになると考え、長期開催から短期開催に変更し実施している。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 02 体育振興費	決 算 書
大事業	004	スポーツ振興事業		P. 235
中事業	03	全国大会出場激励事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	2,170 千円	2,168 千円	2 千円	不 用 額
前年度	2,755 千円	2,441 千円	314 千円	
主な 特定 財源			千円 千円 千円	
【事業の目的】 予選を勝抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。				
【事業の概要】				
○報償費	全国スポーツ大会出場激励金		2,165千円	
	・国体	35名		
	・全国高等学校総合体育大会	66名		
	・国際大会	7名		
	・その他全国大会	218名		
	計	326名 (60大会)		
○需用費	事務用品消耗品費 (金封筒)		3千円	
【事業の成果と改善点等】 国際大会、全国大会に出場する選手・監督に対し、激励金を交付し、大会での活躍を期するとともに、競技スポーツの振興を図ることができた。				

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 03 体育施設費	決 算 書
大事業	001	体育施設管理事業		P. 235
中事業	01	体育施設管理事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	59,912 千円	56,607 千円	3,305 千円	不 用 額
前年度	79,442 千円	61,061 千円	18,381 千円	
主な 特定 財源	国庫支出金 地域活性化・きめ細かな交付金(繰越明許費) 学校体育施設使用料 三国運動公園野球場フェンス広告料 他		15,170 千円 1,863 千円 4,200 千円	
【上記決算額内訳】				
当該年度分	予 算 額	43,012 千円	決 算 額	39,937 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	16,900 千円	繰越分決算額	16,670 千円
【事業の目的】 スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理を推進し、施設の安全性の確保と利用の促進を図る。				
【事業の概要】 (当該年度分)				
○旅費	特別旅費		39,937千円	
○需用費	修繕料(体育施設修繕費)		37千円	
○役務費	火災保険料(公有建物共済分担金)		291千円	
○委託料			399千円	
	防火対象物点検委託料	178 千円	5,898千円	
	学校開放事業委託料	5,720 千円		
○使用料及び賃借料	土地借上料		30,544千円	
○工事請負費	体育施設整備工事費		1,686千円	
○負担金	B&G地域海洋ワタ-連絡協議会負担金	36千円	891千円	
	指定管理者修繕料負担金	855千円		
○補償金	補償費		191千円	
(前年度繰越分)	(地域活性化・きめ細かな交付金事業)		16,670千円	
○委託料	設計委託料		100千円	
○工事請負費	丸岡体育館消防設備改修工事	10,050千円	16,570千円	
	三国運動公園屋内温水プール	6,520千円		
	(天井部分改修、幼児プールフロア取替、排煙窓修繕、ろ剤入替)			
【事業の成果と改善点等】 丸岡体育館、三国運動公園屋内温水プールの修繕と問題となっていた三国陸庫のブリックシ部の撤去を行なうことができた。しかし、全体的に施設の老朽化が進んでおり、今後、施設の維持を含め整備を図る必要がある。				

予算	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育施設費	決算書
大事業	001	体育施設管理事業					P. 235
中事業	01	体育施設管理事業 (体育施設指定管理事業)					所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額		決算額		不 用 額			
216,300千円		216,300千円		0千円			
前年度	221,600千円	221,260千円		340千円			
主な 特定 財源				千円 千円 千円			

【事業の目的】

坂井市内の体育施設を指定管理者制度の導入により、財団法人坂井市体育協会及びアクアスポーツ株式会社へ委託し施設の管理運営にあたることと、自主事業を開催し市民のスポーツ活動を促進する。

【事業の概要】

坂井市内43の体育施設のうち、三国運動公園屋内温水プール、丸岡フィットネスセンター及び丸岡B&G海洋センターの3施設については、アクアスポーツ株式会社、残りの40施設については、財団法人坂井市体育協会が、三国体育館、丸岡体育館、春江体育館及び坂井体育館を拠点として管理運営を行った。

また、指定管理者はモニタリングマネジメントに基づいてモニタリング等を実施した。

指定管理者名	H21	H22	H23
丸岡B&G・フィットネス	110,977人	108,359人	115,001人
三国屋内温水プール	16,234人	14,581人	15,609人
坂井市体育施設	313,012人	324,126人	368,435人
坂井市体育施設 (丸岡自治区)	193,784人	178,374人	167,316人
合計	634,007人	625,440人	666,361人

- 委託料 (指定管理者委託料) 216,300千円
- 丸岡B&G海洋センター、フィットネスセンター 19,000千円
- 三国運動公園屋内温水プール 24,000千円
- 坂井市体育施設 122,800千円
- 坂井市体育施設 (丸岡地区) 50,500千円

【事業の成果と改善点等】

多様化する市民のスポーツに対するニーズに効果的、効率的に対応するため、指定管理者による民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図れた。今後、平成25年度に丸岡B&G・フィットネスセンターと三国運動公園屋内温水プール、平成26年度には坂井市体育施設と坂井市体育施設 (丸岡自治区) を一括募集し、さらなるスケールメリットによる市民の利便性の向上、事務の効率化及びコスト削減を図ることができると見込まれる。

予算	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育振興費	
大事業	001	体育施設管理事業					決算書
中事業	02	体育館等バリアフリー緊急整備事業					P. 237
予算額		決算額		不 用 額			
9,434千円		8,495千円		939千円			
前年度	—	—		—		千円	
主な 特定 財源	原補助金	体育館等バリアフリー緊急整備事業		8,495千円		千円 千円 千円	

【事業の目的】

将来性のある優秀な選手の発掘などのために、障がいのある選手が実際の障がい者スポーツ競技等の参加の機会をつくり、こうした取り組みを通じ、スポーツの楽しさを体験することと、市民の障害に対する理解を深め、障がいのある人の社会参加の推進に寄与する。

【事業の概要】

- 工事請負費 5,450千円
- トイレ新設工事費
- 三国運動公園陸上競技場多目的トイレ設置工事
- 備品購入費 3,045千円
- 施設用備品購入費
- ・海浜公園ディスクゴルフ常設コース設置用備品購入
- ディスクキキチャャー、専用ディスク 1,754千円
- ・ユニカール備品購入
- ユニカールスタンダードセット 1,291千円

【事業の成果と改善点等】

多目的トイレを設置することにより、障がいのある人がスポーツ競技に参加しやすい環境を整備できた。また、障がいのある人でも気軽に参加できるユニカール用具等を購入し、障がいのある人の活動の場を広げるとともに市民の障がいに対する理解を深めることができた。



予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 03 体育施設費	決 算 書 P. 237
大 事 業	002 体育施設管理事業	所 管 部 局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
中 事 業	01 地域支え合い体制づくり事業	不 用 額		
予 算 額	3,000 千円	決 算 額	2,541 千円	459 千円
前年度	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
主 な 特 定 財 源	県支出金	地域支え合い体制づくり事業	2,541 千円	2,541 千円

【事業の目的】

当該体育館は、高齢者スポーツや敬老会事業の会場として、地域の高齢者の生きがいと健康づくりの活動の拠点となっている。しかし、当該施設には洋便器を設置したトイレがないため不便であるため改善を図り、より高齢者の使いやすい施設への改修を図る。

【事業の概要】

- 工事請負費 体育館/バリアフリー工事 2,541千円
- 三國体育館/バリアフリー工事 1,076千円
- 丸岡体育館/バリアフリー工事 987千円
- 春江B&G海洋センター/バリアフリー工事 478千円

【事業の成果と改善点等】

体育館トイレに洋便器を設置することにより、高齢者の使いやすい施設に改善が図られた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費	決 算 書 P. 223
大 事 業	001 文化振興諸事業	所 管 部 局 教育委員会事務局 文化課		
中 事 業	01 文化振興諸事業	不 用 額		
予 算 額	50,539 千円	決 算 額	47,306 千円	3,233 千円
前年度	40,943 千円	40,856 千円	— 千円	87 千円
主 な 特 定 財 源	使用料	春江陶芸工房使用料	— 千円	40 千円

【事業の目的】

市民の文化活動の振興及び資質の向上を図ることを目的に、文化振興事業団及び坂井市文化協会の活動を支援する。また、優れた芸術に触れる機会を提供する。

【事業の概要】

- 賞金 臨時職員賞金 4,150 千円
- 報償費 全国大会出場激励金 100 千円
- 需用費 消耗品費（事務用品） 2 千円
- 光熱水費（春江陶芸工房電気料、上下水道料） 213 千円
- 春江陶芸工房修繕料 16 千円
- 役務費 春江陶芸工房火災保険料 7 千円
- 委託料 文化祭業務委託料 4,995 千円
- 公演業務委託料 17,977 千円
- 市民文化創造企画支援業務委託料 1,170 千円
- 丸岡町文化振興事業団補助金 16,076 千円
- 坂井市文化協会補助金 2,600 千円

指標名	平成23年度	平成22年度
文化協会会員数	3,027人	2,976人
文化祭来場者数	11,673人	7,350人
公演事業入場率 (入場者数/設定席数)	74.0%	87.6%

【事業の成果と改善点等】

文化協会は会員を増やし、活動を広げることができた。文化祭事業では、実行委員会への委託により、地域文化の特性を生かした文化祭が開催でき、来場者も増加した。公演事業では、落語、クラシック、ミュージカルなど、幅広いジャンルや世代を対象とした公演を企画・実施し、さらに市民参加・育成型の公演を企画することで、地域に根ざした文化芸術の普及、推進に努めた。

なお、文化祭事業では開会式後の芸能発表が長過ぎたとの意見が多かったため、出演団体数や出演時間の調整が必要。また、公演事業では入場率が低い事業もあったため、企画内容や集客方法に検討を要する。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大 事 業	002	ONO×モリアル管理運営事業	決 算 書 P. 225
中 事 業	01	ONO×モリアル管理運営事業	所 管 部 局 教育委員会事務局 みくに龍翔館
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
前年度	3,010 千円	2,769 千円	241 千円
主 な 特 定 財 源	3,612 千円	3,538 千円	74 千円
	ONO×モリアル企画展入場料		115 千円

【事業の目的】  
故小野忠弘氏の住居兼アトリエの保存と活用を図るとともに、市民の美術に関する感性と創作意欲の向上に寄与する。

- 【事業の概要】
- 報償費 指導謝礼（中野重治の詩選定理由文執筆等） 380千円
  - 需用品 賞品（こどもが描くささと坂井絵画展賞品） 75千円
  - 需用費 事務用消耗品 23千円
  - 役員費 企画展監修者弁当代 2千円
  - 委託料 中野重治展チラシ・ポスター制作費等 327千円
  - 役員費 電気・上下水道料 356千円
  - 委託料 施設等修繕 13千円
  - 役員費 電話番号・チラシ及びポスター発送料 129千円
  - 委託料 建物火災保険料 10千円
  - 役員費 警備保障委託料（機械警備） 189千円
  - 委託料 施設管理委託料（シルバー賞金） 575千円
  - 役員費 樹木管理委託料（シルバー賞金） 36千円
  - 委託料 賞状筆耕委託料（シルバー賞金） 24千円
  - 役員費 清掃委託料（ガラス・床） 100千円
  - 委託料 展示設営業務委託料（シルバー賞金） 19千円
  - 役員費 イベント事業委託料（戸田事務所監修委託） 500千円
  - 役員費 使用料 著作権使用料 11千円

指標名	平成23年度	平成22年度
ONO×モリアル入場者数	707人	911人

【事業の成果と改善点等】  
自主事業として「中野重治展」、「こどもが描くささと坂井絵画展」、「シュニオセミナー展」を実施した。また、持込企画展として「うかい小夜子展」を後援支援したこと  
で入館者増を計ることができた。  
管理面では、節電・節水に努め光熱水費等管理経費の削減に努めることができた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大 事 業	003	文化未来館施設管理運営事業	決 算 書 P. 225
中 事 業	01	文化未来館施設管理運営事業	所 管 部 局 教育委員会事務局 文化課
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
前年度	57,666 千円	56,420 千円	1,246 千円
主 な 特 定 財 源	46,716 千円	46,715 千円	1 千円
	国庫支出金	地域活性化・さめ細かな交付金(繰越明許費)	7,470 千円
	特定収入	指定管理者修繕負担金(繰越明許費)	300 千円
	財源		千円

【上記決算額内訳】  
当該年度分 予 算 額 48,866 千円 決 算 額 48,650 千円  
前年度繰越分 繰越分予算額 8,800 千円 繰越分決算額 7,770 千円

【事業の目的】  
文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動を支援し、文化的資質の向上を図ることを目的とする。

- 【事業の概要】
- 役員費 (当該年度分) 48,650 千円
  - 委託料 みにくに文化未来館火災保険料 65 千円
  - 備品購入費 みにくに文化未来館指定管理者委託料 46,800 千円
  - 役員費 舞台音響備品購入費 1,785 千円
  - 役員費 (前年度繰越分) 7,770 千円
  - 役員費 地域活性化・さめ細かな交付金事業 7,770 千円
  - 役員費 舞台設備機構吊物ワイヤーロープ取替工事

指標名	平成23年度	平成22年度
施設利用者数	11,757人	11,048人

【事業の成果と改善点等】  
施設及び設備の老朽化に伴い、年次計画のもと舞台設備の取替と音響設備の更新を行った。ホールの特性を生かし、地域文化振興の拠点施設として、今後も市民の練習や発表の場として気軽に利用ができるよう施設を提供し、文化芸術の振興の更なる充実を求めている。また、住民参加型の事業など、自主事業の活動内容の見直しを図る。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	004 旧森田銀行本店管理運営事業		決 算 書 P. 225
中事業	01 旧森田銀行本店管理運営事業		所管 部局 教育委員会事務局 文化課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	3,166 千円	3,166 千円	0 千円
主 任			千円
特 定			千円
財 源			千円

【事業の目的】

旧森田銀行本店は、国の登録有形文化財である。文化財を保護し広く一般に公開し、文化財保護意識を高揚し、市民の文化の活性化を図ることを目的とする。

【事業の概要】

旧森田銀行本店火災保険料 16 千円  
旧森田銀行本店指定管理者委託料 3,150 千円

指標名	平成23年度	平成22年度
入館者数	27,070人	25,342人

【事業の成果と改善点等】

施設の運営事業については、一階スペースは展示会場として、夜間はコンサート会場として市民や市民以外の方に施設の有効活用のもと提供し集客を図った。今後も、適切な施設の保守管理に努めつつ、創意工夫あふれる取組みによって施設の価値を高め、文化芸術の振興の更なる充実に努めていく。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	005 旧岸名家等管理運営事業		決 算 書 P. 225
中事業	01 旧岸名家等管理運営事業		所管 部局 教育委員会事務局 文化課
	予 算 額	決 算 額	不 用 額
前年度	4,467 千円	4,467 千円	0 千円
主 任			千円
特 定			千円
財 源	4,588 千円	4,587 千円	1 千円

【事業の目的】

歴史・民俗等に関する資料の展示を公開し、市民の文化向上に資するため、市の伝統的建造物である旧岸名家を広く一般に公開して、保存・活用する。

【事業の概要】

旧岸名家・三國湊町家館火災保険料 57 千円  
旧岸名家・三國湊町家館指定管理者委託料 4,410 千円

指標名	平成23年度	平成22年度
旧岸名家入館者数	9,079人	8,994人
三國湊町家館入館者数	13,921人	12,178人

【事業の成果と改善点等】

旧岸名家、三國湊町家館の両施設は、「三國湊きたまえ通り」の基幹施設として重要な役割を果たしており、NPO法人として観光ガイドを充分發揮させて、来訪者へサービス向上につなげるよう、今後もモニタリング等を行い、効率的な運営を指導していく。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費																					
大	事	業	006	みくに龍翔館管理運営事業		決算書 P. 227 教育委員会事務局 みくに龍翔館																					
中	事	業	01	みくに龍翔館管理運営事業																							
予		算		額	決	算	額	不	用	額																	
26,278		千円		24,731	千円		1,547	千円																			
前	年	度	18,071	千円		17,895	千円		176	千円																	
主	な	財	源	支	出	金	地	域	活	性	化	・	さ	め	細	か	な	交	付	金	(	繰	越	明	許	費	
特	定	財	源	使	用	料	み	く	に	龍	翔	館	入	場	料	5,594	千円										
財	源	諸	収	入	印	誌	等	領	布	代	他	3,818	千円														
【上記決算額内訳】		予		算		額		決	算		額		不	用		額											
当	該	年	度	分	予	算	額	19,978	千円		19,137	千円															
前	年	度	繰	越	分	繰	越	分	予	算	額	6,300	千円		繰	越	分	決	算	額	5,594	千円					
【事業の目的】		坂井市の歴史についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的な文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査研究を行う。																									
【事業の概要】		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報償費 19,137千円</li> <li>○ 旅費 259千円</li> <li>○ 需用費 37千円</li> <li>○ 役員費 7,648千円</li> <li>○ 手数料 (公用車検手数料・入館者転入手数料他) 201千円</li> <li>○ 建物火災保険料 172千円</li> <li>○ 公用車保険料 48千円</li> <li>○ 展示・収蔵資料損害保険料 46千円</li> <li>○ 委託料 183千円</li> <li>○ 使用料及び賃借料 7,989千円</li> <li>○ 工事請負費 399千円</li> <li>○ 備品購入費 1,900千円</li> <li>○ 負担金 216千円</li> <li>○ 公課費 20千円</li> <li>○ 需用費 (前年度繰越分) 19千円</li> <li>○ 需用費 5,594千円</li> <li>○ 需用費 5,594千円</li> </ul>																									
指		標		名		平		成		23		年		度		平		成		22		年		度			
み		く		に		龍		翔		館		入		館		者		数		17,020		人		14,260		人	

【事業の成果と改善点等】  
施設管理委託料を競争原理により削減に努めた。節電・節水・空調機の効率運転により経費削減に努めた。施設の経年劣化箇所を改修することができた。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費																				
大	事	業	006	みくに龍翔館管理運営事業		決算書 P. 227 教育委員会事務局 みくに龍翔館																				
中	事	業	02	みくに龍翔館展示事業																						
予		算		額	決	算	額	不	用	額																
3,000		千円		2,698	千円		302	千円																		
前	年	度	—	千円		—	千円		—	千円																
主	な	財	源	支	出	金	地	域	活	性	化	・	さ	め	細	か	な	交	付	金	(	繰	越	明	許	費
特	定	財	源	使	用	料	み	く	に	龍	翔	館	入	場	料	5,594	千円									
財	源	諸	収	入	印	誌	等	領	布	代	他	3,818	千円													
【事業の目的】		坂井市の歴史についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的な文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査研究を行う。																								
【事業の概要】		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報償費 255千円</li> <li>○ 特別旅費 44千円</li> <li>○ 需用費 35千円</li> <li>○ 役員費 781千円</li> <li>○ 印刷製本費 (特別展図録・ポスター・チラシ他) 1,438千円</li> <li>○ 通信運搬費 (特別展借用資料美術輸送料) 145千円</li> <li>○ 保険料 (特別展借用資料損害保険料)</li> </ul>																								
【事業の成果と改善点等】		<p>企画展「春の企画展 明治から伝えられたもの」4月29日～5月29日 展示資料数 103点 観覧者数 1,817人</p> <p>企画展「トリックアート作品展」第1期 6月18日～7月24日 展示資料数 31点 第2期 7月30日～9月11日 展示資料数 37点</p> <p>観覧者数 第1期 1,666人 第2期 2,478人</p> <p>特別展「天下人の時代と坂井一戦国武将の息吹と足跡」10月29日～11月27日 展示資料数 60点 観覧者数 1,947人</p> <p>企画展「小野忠弘展」12月16日～4月中旬 配布数 314冊</p>																								
年間入館者が昨年よりも増加した要因は、リピーターを増やすために行った企画展・特別展・郷土史研究講座・報道機関へのプレスリリース・依頼講師の派遣等学芸員の努力によるものが大きかった。本年度実績を大切な踏み台としてさらなる飛躍を目指す。																										

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	007	歴史民俗資料館管理運営事業			決算書 P. 229				
中事業	01	歴史民俗資料館管理運営事業			所管部局 教育委員会事務局 文化課				
予算額		決算額		不用額					
前年度	82千円	80千円	2千円						
主な特定財源	82千円	80千円	2千円						

【事業の目的】  
郷土の有形文化財及び民俗資料を収集保存し、一般に公開してその教養を高めるとともに学術・文化の向上に資することを目的とする。

【事業の概要】  
○ 業務費  
丸岡城・歴史民俗資料館火災保険料 52千円  
丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 28千円

指標名	平成23年度	平成22年度
入館者数	80,426人	73,290人

【事業の成果と改善点等】  
展示内容が固定されているため、リピーターの確保は難しい。展示の見直しを図る必要がある。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	008	文化の森管理運営事業			決算書 P. 229				
中事業	01	文化の森管理運営事業			所管部局 教育委員会事務局 文化課				
予算額		決算額		不用額					
前年度	93,580千円	91,470千円	2,110千円						
主な特定財源	国庫支出金 地域活性化・きめ細かな交付金(繰越明許費) 指定管理者修繕負担金(繰越明許費)	84,920千円 84,510千円	410千円 14,348千円 300千円						
【上記決算額内訳】									
当該年度分	予算額	77,080千円	決算額	76,822千円					
前年度繰越分	繰越分予算額	16,500千円	繰越分決算額	14,648千円					

【事業の目的】  
文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動の振興と、文化的資質の向上を図ることを目的とする。

【事業の概要】  
(当該年度分)  
○ 需用費 修繕料(小ホールコンサートピアノノ修繕) 76,822千円  
○ 役務費 文化の森・YURI文化情報交流館火災保険料 1,179千円  
○ 委託料 文化の森・YURI文化情報交流館指定管理者委託料 140千円  
71,200千円  
○ 使用料及び賃借料 ハートピア春江屋外排水管点検調査業務委託料 483千円  
文化の森敷地借上料 3,820千円  
(前年度繰越分)  
地域活性化・きめ細かな交付金事業 14,648千円  
○ 工事請負費 舞台設備構造物ワイヤーロープ取替工事 14,648千円

指標名	平成23年度	平成22年度
施設利用者数	148,229人	128,877人

【事業の成果と改善点等】  
自主事業である、財団職員自らの企画制作による文化活動事業の開催により、市民が日常的に気軽に文化施設へ赴き、交流を通じて文化施設が身近に感じられる場となった。今後、適切な施設の保守管理に努めつつ、創業者が築かれた取組みによって施設の価値を高め、文化芸術振興の拠点としてさらなる充実を求めていく。

予算	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大事業	001 文化財保護審議会運営事業	決算書 P. 229	
中事業	01 文化財保護審議会運営事業	所管 部局 教育局 文化課	
予 算 額		決 算 額	不 用 額
前年度	222 千円	189 千円	33 千円
主な 特定 財源	224 千円	174 千円	50 千円

【事業の目的】  
坂井市教育委員会の諮問機関で、文化財の保存及び活用に關する重要事項について調査  
審議し、建議する。

【事業の概要】

- 報酬 文化財保護審議会委員報酬 184 千円
- 旅費 文化財保護審議会委員費用弁償 3 千円
- 需用費 食糧費 (文化財保護審議会お茶代) 2 千円

委員数	会議開催数
10名	3回 (内1回現地視察)

【事業の成果と改善点等】

市指定文化財について、昨年度までにすべての見直しを終了し、指定解除13件、新規  
指定1件、登録文化財指定8件の答申を行った。本年度4月1日より坂井市登録文化財制度  
が実施され、新たな文化財の指定や登録文化財の指定について審議していくことになる。  
今後も文化財の修理の相談など幅広く協力を得て、適正は文化財保護を図っていく。

予算	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大事業	002 文化財保存管理事業	決算書 P. 229	
中事業	01 文化財保存管理事業	所管 部局 教育局 文化課	
予 算 額		決 算 額	不 用 額
前年度	11,861 千円	10,099 千円	1,762 千円
主な 特定 財源	23,387 千円 国宝重要文化財等保存整備補助金 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金	22,134 千円	1,253 千円 117 千円 1,098 千円

【事業の目的】

坂井市の区域内に存する国・県・市の指定を受けた文化財の保存・管理のため必要な措  
置を講じ、市民の歴史・文化の向上に資するとともに、郷土文化の振興に貢献する。

【事業の概要】

- 賃金 臨時職員賃金 1,089 千円
- 報酬費 文化財管理奨励金 410 千円
- 旅費 費用弁償 (調査官招聘旅費) 18 千円
- 需用費 特別旅費 (全史協北信越地区協議会総会) 17 千円
- 役務費 消耗品費 (事務用品) 65 千円
- 委託料 光熱水費 (出世山古墳公園電気料、上下水道料) 66 千円
- 使用料及び賃借料 修繕料 (古墳公園設備修繕) 100 千円
- 負担金 出世山古墳公園火災保険料 16 千円
- 補助金 丸岡城防災設備改修工事調査設計委託料 4,568 千円
- 使用料及び賃借料 旧森田銀行本店外壁劣化度調査業務委託料 1,092 千円
- 負担金 古墳公園等トイレ清掃、早刈剪定業務委託料 1,486 千円
- 補助金 出世山古墳公園、銅鑿出土記念碑敷地借上料 146 千円
- 補助金 全史協北信越地区協議会等負担金 75 千円
- 補助金 市指定無形文化財保存活動等補助金 576 千円
- 補助金 指定文化財保存事業費補助金 375 千円

【事業の成果と改善点等】

今年度有形文化財の管理補助から管理奨励金に制度を変更し、全ての指定文化財所有者  
に対して通知し、管理報告書の提出のあった32件に対して奨励金を交付した。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大事業	003	六呂瀬山古墳群調査事業					決算書	P. 231		
中事業	01	六呂瀬山古墳群調査事業					所管部局	教育委員会事務局 文化課		
予算額		決算額		不用額						
3,322千円		2,504千円		818千円						
前年度	3,309千円		2,929千円		380千円					
主な特定財源	国庫支出金		国宝重要文化財等保存整備費補助金 (市内遺跡発掘調査)		1,252千円					

【事業の目的】

貴重な文化財である「国指定史跡六呂瀬山古墳群」を史跡公園として整備し、また史跡の保存を図りながら、市民に公開することで教育普及活動と歴史・文化を生かしたまちづくりを進める。

【事業の概要】

- 買金 2,006千円
- 需用費 245千円
- 委託料 14千円
- 使用料及び賃借料 6千円
- 発掘作業員賃金 233千円
- 消耗品費(発掘用機材等)
- 印刷製本費(写真現像代)
- トイレ汲取り料
- 発掘用機材借上料

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大事業	004	埋蔵文化財発掘調査事業					決算書	P. 231		
中事業	01	埋蔵文化財発掘調査事業					所管部局	教育委員会事務局 文化課		
予算額		決算額		不用額						
3,240千円		3,052千円		188千円						
前年度	121千円		108千円		13千円					
主な特定財源	国庫支出金		国宝重要文化財等保存整備費補助金 (市内遺跡発掘調査)		233千円					

【事業の目的】

埋蔵文化財の保護と開発事業の円滑な調整を図り、調査の成果は広く公開活用し、教育普及活動を実施する。

【事業の概要】

- 需用費 8千円
- 委託料 2,572千円
- 消耗品費(整理作業用具等)
- 豊原寺跡詳細分布調査踏査業務委託料
- 試掘調査掘削委託料 472千円

埋蔵文化財試掘調査等実施状況

指標名	平成23年度	平成22年度	備考
発掘届受付件数	48件	40件	
試掘調査実施件数	19件	13件	
調査面積	766㎡	278㎡	六呂瀬山古墳群、丸岡城跡を除く
内容確認遺跡数	34件	30件	試掘件数+工事立会件数

豊原寺跡詳細分布調査踏査業務

踏査実施面積	既存図修正実施面積	確認した遺構の数
約200,000㎡	約50,000㎡	127カ所

【事業の成果と改善点等】

調査予定面積120㎡のところ、約57㎡の調査を実施した。

【事業の成果と改善点等】

林業等の山林利用と遺跡保護の調整を図るため、詳細分布調査を実施しました。調査の結果、遺跡が良好に残されていることがわかり、今後は作成した分布図を利用して各種工事などの調整に努めます。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 12 図書館費
大事業	002 記念文庫等管理運営事業		決 算 書 P. 233
中事業	01 記念文庫等管理運営事業		所管 教育委員会事務局 部局 図書館
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
646千円	529千円	117千円	
前年度	771千円	134千円	
主な 特定 財源			千円 千円 千円

【事業の目的】

中野文庫及び小葉田文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、中野重治氏と小葉田淳氏を文化的先駆者として啓蒙を図る。

【事業の概要】

- 報償費 (講師謝礼、出演者謝礼) 90千円
- 費用弁償 (講師用旅費、宿泊費) 47千円
- 需用費 (事務用消耗品費、光熱水費他) 52千円
- 役務費 (生家跡トイレ汲取料) 4千円
- 委託料 (生家跡樹木剪定業務委託料) 300千円
- 使用料及び賃借料 (生家跡トイレ借上料) 31千円
- 負担金 (中野重治の会負担金) 5千円

【行事の開催】

くちなし忌 8月20日(土) 場所 中野重治生家跡 いきいきプラザ霞の郷  
式典 中野生家跡 詩の朗読、フルートの演奏、献花 参加者約40名  
記念講演『中野重治における〈詩〉の行方』 参加者110名  
講師 松原 新一氏  
小葉田淳氏記念文庫講演会 10月23日(日)  
『維新期の坂井市について』 講師 吉田 健 氏 参加者 90名  
場所 いきいきプラザ霞の郷

【事業の成果と改善点等】

今年度も文庫関係の講演会を実施して、多数の参加者が受講し成果をあげることができた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 12 図書館費
大事業	001 図書館管理運営事業		決 算 書 P. 231
中事業	01 図書館管理運営事業		所管 教育委員会事務局 部局 図書館
予 算 額	決 算 額	不 用 額	
156,685千円	151,644千円	5,042千円	
前年度	172,877千円	1,703千円	
主な 国庫支出金	地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金(繰越明許費)	53,364千円	
特定 諸収入	図書カード再交付他	167千円	
財源 諸収入	図書弁償金	70千円	

【上記決算額内訳】

当該年度分 予 算 額	98,385千円	決 算 額	96,647千円
前年度繰越分 繰越分予算額	58,300千円	繰越分決算額	54,997千円

【事業の目的】

地域社会の情報拠点として、幼児から学生、高齢者までの幅広い利用者の生涯学習の推進を図る。

【事業の概要】 (当該年度分)

- 報酬 (図書館協議会委員報酬) 96,647千円
- 賃金 (臨時職員賃金) 90千円
- 報償費 (講師謝礼) 38,295千円
- 旅費 (費用弁償、普通旅費、特別旅費) 491千円
- 需用費 (消耗品費、光熱水費、修繕料他) 103千円
- 役務費 (切手代他) 13,323千円
- 委託料 (各種保守点検委託料) 1,208千円
- 使用料及び賃借料 (各種リース) 7,465千円
- 備品購入費 (図書資料購入費、ブックトラック) 12,547千円
- 負担金 (日本図書館協会費) 23,086千円
- (前年度繰越分) (地域活性化・住民に光をそそぐ交付金事業) 39千円
- 需用費 施設等修繕料 54,997千円
- 委託料 管理委託料、設計委託料 1,700千円
- 工事請負費 施設改修工事 1,743千円
- 備品購入費 図書購入 46,554千円
- 負担金 5,000千円

【利用状況】

項目	平成23年度	平成22年度
貸出冊数	809,511	767,546
利用人数	203,740	181,087

【子どもの読書活動推進事業】

年間4回の講演会の開催 参加者延べ 約600名  
市内全館合同行事の開催 参加者延べ 約500名

【事業の成果と改善点等】

地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金により、坂井市内図書館の改修や資料の充実を図れたことは大きな成果となった。



## 平成23年度

### 坂井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検、評価等に関する意見

坂井市社会教育委員 太田 朗夫

1. 坂井市教育委員会会議開催について  
前年と同じく13回、42件の付議、その内容からも充分機能を果たしているものと判断できる。
2. 活動状況について  
多くの教育関係行事に各教育委員が出席され、お疲れ様でした。
3. 各委員会、審議会において、年間計画に従い運営されていた。
4. 教育委員会関係の許認可状況  
現在までの許認可数は、合計119件である。

#### 教育総務課

##### 《教育委員会》

- ① 教育委員会運営事業
- ② 教育委員会表彰事業
  - ① では前年並みの委員会が開催され、円滑な委員会が運営された。
  - ② では、功績、功労、奨励合計36件の表彰が行われた。
- ③ 行政全般にわたる事務調整、関係団体等との情報交換、連携に努められ、教育基本計画も策定され、充実した年であったと評価できる。

##### 《小学校管理》

##### 《中学校管理》

##### 《幼稚園》

小学校で教育環境の改善等でやや増加、中学校でやや減少したがさほどの変化はなかった。

#### 教育施設整備課

##### 《小学校・中学校・幼稚園》

小学校では耐震診断が実施され、中学校4校においては耐震補強をはかったので、大幅な増加となった。未実施の施設の早期実施が望まれる。

#### 学校教育課

##### 《教育委員会》

- ① 教育相談事業

関係機関との連携のもと、不登校対策、学級復帰への支援、保護者に対する相談事業の充実等に

対応され、大いに評価できる。

② 学級運営支援事業

学習面、学校生活面等に適切に支援されていた。

《小学校児童健康管理事業》

児童の健康管理、健康増進等適切に実施された。

《小学校教育振興事業》

① パソコン、デジタルテレビ等を活用しながら、児童自らが学び、考える力の育成など充実に図られた。

② 児童就学援助事業

申請に基づき審査、認定、適正な扶助費の交付。

③ 通学支援事業

遠距離通学の解消と安心安全な通学の確保がなされた。

《中学校生徒健康管理、教育振興事業》

① ほぼ前年並みに遂行された。

② 教育環境の構築により、学力向上、わかりやすい授業の展開、コア・ティチャー養成など教育力の向上など努力されたこと大いに評価できる。

③ クラブ活動推進事業

生徒の自主性、意欲向上、活動により規律、社会性の育成に努められたこと評価したい。

《幼稚園総務》

① 幼稚園教育振興事業

集団生活で基本的な生活習慣等を育成することは、就学前の指導は大変重要である。

《学校給食》

① 学校給食管理事業

地産地消の推進など推進されたこと、大いに評価したい。

**生涯学習スポーツ課**

《社会教育総務》

① 社会教育諸事業

成人大学の運営については、より多くの参加者や働き盛りの年齢層参加の拡大等今後も大いに努力されたい。

② 市民運動推進事業

地域の活性化や環境美化など、活発な活動を期待したい。

③ 社会教育団体補助金

「新しい公共」運動が拡大しつつあるが、各団体にも徹底して欲しい。

④ 公民館維持管理事業

公民館利用者はやや前年を下回ったが、利用の多様化や利用者の高齢化などを思料するとき、早急な耐震化、上層階への移動装置等の設置が望まれる。

⑤ 公民館連絡活動事業

主事研修は今後大いに拡大実施し、地域のニーズに応えられるようお願いしたい。各公民館における生涯学習講座もより充実し活動の拡大（各年齢層）を図られたい。

⑥ 公民館施設整備事業

経年変化の甚だしい公民館が多いので、継続して事業をすすめて欲しい。

《国際交流派遣事業》

① 国際交流派遣事業

今後拡大の方向で進められないか、検討願いたい。

② 子ども会育成事業

子ども会育成事業

リーダーの養成、育成研修継続されたい。

③ 成人式事業

継続実施されたい。

④ わんぱく少年団事業

団員の底辺拡大を願いたい。

⑤ 青少年健全育成事業

放課後子ども教室は地域に根ざした大切なもので継続実施されたい。

⑥ 合宿通学事業

地域のおじさん、おばさんによる指導で貴重な体験でもあり、支援者の底辺拡大に努力されたい。

⑦ 坂井・延岡ジュニア交流事業

継続されたい。

⑧ 心の家庭教育支援事業

講座の開催を是非継続して欲しい。

《愛護センター事業》

① 愛護センター事業

青少年健全育成の充実に努められたい。

《体育指導委員運営事業》

① 体育指導委員運営事業

市民のスポーツによる健康づくりに一層努力されたい。

《保健体育諸事業》

① 保健体育諸事業

スポーツ団体補助事業では、自主運営力を高める努力を求めたい。

《スポーツ振興事業》

① スポーツ大会運営事業

市民にスポーツをはじめの動機付けをより進めて欲しい。

② 全国大会出場激励事業

各種大会で活躍を期待し、スポーツの振興を図られたい。

《体育施設管理事業》

- ① 老朽化が進む各施設の統廃合など早急に検討されたい。また指定管理を効果的に活用しながら、バリアフリー化も進め障がい者に対する理解を深めて欲しい。

文化課

《文化振興諸事業》

① 分科会振興諸事業

実行委員会の委託で地域文化の特性を生かした文化祭の開催や、参加者も増加した。更なる発展を期待したい。

② ONOメモリアル管理運営事業

入場者はやや減少したが、現代アートの取組、持ち込み企画など充実していた。

③ 文化未来館施設管理運営事業

地域文化振興の拠点として、市民の発表等のため更なる充実を図って欲しい。

④ 旧岸名家等管理運営事業

旧岸名家、三國湊町家館両施設とも観光ガイドの功績もあろうが、入館者が増加していることなど、大いに評価したい。

⑤ みくに龍翔館管理運営、展示事業

入館者も増加し今後とも郷土の学術発展に努力されたい。

⑥ 歴史民俗資料館管理運営事業

学術文化の向上をめざし、更なる努力を望みます。

⑦ 文化の森管理運営事業

今後も文化芸術の拠点としてさらなる充実を望みたい。

《文化財保護》

①文化財保護審議会運営事業、保存管理事業

今後とも適正な文化財保護を図って欲しい。

② 六呂瀬山古墳群調査事業

市にとって貴重な文化財であり、調査、保護等事業推進されたい。

③ 埋蔵文化財発掘調査事業

文化財の保護、開発等さらなる工場を期待したい。

**図書館**

① 図書館管理運営事業

貸出、利用者とも増加等評価したい。

② 記念文庫等管理運営事業

各文庫の維持管理、貴重なものであり今後もよろしくお願ひしたい。

以上



1. 平成23年度坂井市教育委員会活動状況について

○教育委員の設置状況は適正な人選を行い設置されていると評価します。

○委員会会議の開催状況は、必要な時期に定例または臨時に会議を13回開催し、42件の付議事項を協議した内容は、坂井市の教育行政の運用ために必要な内容となっており、適切な委員会活動と評価いたします。

○教育委員の活動状況においては、各種式典やイベント等の諸行事に委員長および、各委員と教育長が数多く出席しており、その活動は高く評価いたします。

○委員会、審議会等の審議状況は、各種委員会や協議会等に出席し協議および審議を行った活動を評価いたします。

2. 平成23年度の教育委員会関係事業の取組実績について

【教育総務課】

各幼・少・中学校の施設を良好に保つための維持管理を行い、よりよい教育環境を維持することと共に、当年度は省エネ法改正による教育施設の現状調査と今後の計画策定を行ったことは評価いたします。

【教育施設整備課】

各学校施設の耐震補強工事は大きな懸案事項であり、限られた予算の中で、耐震診断結果により作成された整備基本方針や整備計画の整備と、その計画に基づき整備の実施を行ったことを評価いたします。

【学校教育課】

パソコンやデジタルテレビなどを活用しながら、基礎的・基本的な知識および技能を習得させ、生徒自ら学び自ら考える力の育成等教育振興の充実が図られたことを評価いたします。

園児、児童、生徒の健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスの取れた給食を提供することによる健康増進、体位向上を図るとともに食育指導等の充実が図られたことを評価いたします。

【生涯学習スポーツ課】

国際交流派遣事業において、中学生を英国に派遣し、ホームステイや授業参加を通じて外国の生活を体験することにより国際化時代に対応できる生徒を育成することは、今後のグローバル化が進む社会のなかで将来の坂井市を担う子供たちにとっても、坂井市にとっても非常に大きな意義のある事業であると評価いたします。

坂井市の将来を担う園児、児童、生徒達の大きいなる可能性を引き伸ばし、育成するための学校設備を中心とした環境整備や、人的補助の拡張などの事業は、坂井市にとっても大変重要なことであり、今後とも発展的継続をして頂きたいと思っております。